

SHIZUOKA

J・O・U・R・N・A・L

Vol.24 No.2 2014 (通巻191号)

目 次

巻 頭 言	「吾唯足知」…………… 東部副会長 望月 茂 ……	1
会 告	第20回 静岡県放射線技師学術大会	
	・ 演題募集……………	2
	・ 演題区分表……………	3
	・ 演題申込用紙……………	4
	平成26年度診療放射線技師基礎技術講習MRI検査(12/7) ……	5
	第8回 医療安全セミナー(12/13) ……	6
	第25回放射線技師のためのセミナー(1/17) ……	7
	新春公開講演(1/24) ……	8
	第23回アール祭(1/24) ……	9
	平成26年度第2回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会(2/8) ……	10
	第63回超音波部会・第25回乳腺画像部会合同研修会(2/14) ……	11
	第2回静岡県MRI技術研究会・第43回アンギオ部会研修会(2/21) ……	12
	第56回東海四県放射線技師学術大会(愛知)(2/15) ……	13
	平成26年静岡県放射線技師研修会(3/14) ……	14
	肺がん検診エックス線撮影従事者講習会(3/21) ……	15
報 告	第35回静岡ふれあい広場(9/7) ……	16
	平成26年度第1回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会(9/7) ……	18
	第62回超音波部会研修会(10/4) ……	19
学術論文	第1回静岡県MRI技術研究会(10/25) ……	26
メッセージボード……………		30
本会の歩み……………		34
会員動静……………		36
本会への寄贈図書……………		38
平成26年度 第2回理事会議事録(8/30) ……		40
行事予定カレンダー……………		50



『吾唯足知』

公益社団法人静岡県放射線技師会 副会長 望月 茂



五
矢
知
足

吾唯足知

皆さんはこんな文字を知っているでしょうか？

これは、京都にある有名なお寺の蹲踞（茶室に入る前に、手を清めるために置

かれた背の低い手水鉢）に書かれていて、口という字を使い4つの文字に分け「吾唯足知」となります。（われただたるをしる）と読むのだそうです。

その意味は、簡単に言うと「人はあまり欲張らないで今を大切にしましょう」という事です。この文字にはかなり深い意味合いがあります。

この吾唯足知という言葉は、日々の生活の中で多くの物は必要ではなく、自分自身が必要とするものだけ、必要な量を知ることが大事だと言っています。そして、その最小限必要なものだけで満足することを知りなさいと言う事です。

ただこの言葉は、何も望まず、何もしないで問題を先送りするという意味ではありません。

本来は仏遺教経からきていて「若し諸の苦悩を脱せんと欲せば、まさに知足を觀ずべし」という言葉が語源だそうです。

私たちは自分自身を見つめるとき、時として身の回りにある様々なものによって目を曇らされることがあります。自分の立場や環境、知識など、他人と比べてではなく、何が自分にとって必要で何が不要なのかをきちんと見極めることができなくなってしまう。人それぞれ、環境によって必要なものは違ってきますし、同じである必要もありません。まずは自分にとっての「必要」を考えてみては

いかがでしょうか。

それでは、私たち診療放射線技師にとっての「必要」は、どのようなものでしょうか。

数十年にわたり放射線技師さんたちを見ていますが、皆さん勉強熱心でいつも研究会、学会、その他病院内の勉強会、認定試験の合格のために大変頑張っている姿を目にしてきました。

診断機器・治療機器は日進月歩で、より精密で高度になっています。それらの機器の取り扱いには、高い情報処理能力と高度な専門的知識が必要です。しかも、チーム医療における医療スタッフの一員として活躍するには、それだけでは不十分で、医療従事者としての高い倫理観、社会・経済の基礎知識、コミュニケーション能力など、患者さんを取り巻く環境を把握していることも重要です。また、当然のことですが、診療放射線技師は、数学や物理を主とする理数系がつよくなければなりません。改めて大変な職業だなと思います。

しかし、これらすべてをすぐに手に入れることは、大変難しいと思います。時にはすごく頑張ってみる事もとても大事ですが、いつもプレッシャーを感じながら頑張っていくのはとても大変です。これで充分、つまり「ごちそうさま」と言える心のゆとりを持った方が心は穏やかになります。

長い人生の中で、その時々で今、自分には何が足りないのか？私のスキルは何が足りないのか？必要な事を必要な分だけ吸収する。それを、どれだけ積み重ねたのかがその人の重みになってくるのではないのでしょうか。

是非、自分自身の「足るを知る」を見つめてみてください。

会 告

『第20回静岡県放射線技師学術大会 演題募集』

平成27年5月31日（日）において、第4回（公社）静岡県放射線技師会定時総会及び第20回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 平成27年5月31日（日）

【会 場】 ふじのくに千本松フォーラム（プラサヴェルデ）
〒410-0801 静岡県沼津市大手町一丁目1番4号
TEL055-920-4100

【発表形式】 ① 口述発表 発表時間7分 討論3分
② 液晶プロジェクターを使用したPCプレゼンテーション
(Windows用 Microsoft Office Power Point2010)を基本とします。

【発表資格】 会員および賛助会員 但し、平成26年度会費完納者に限ります。
会費未納者は演題発表することができませんのでご注意下さい。

【応募方法】 静放技ホームページ (<http://shizuhogi.jp>) にて演題申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、下記アドレスまで送信してください。インターネット・電子メールができる環境でない方は、本誌掲載の演題申込用紙へ必要事項を記入し、郵送もしくはFAXにてお申込みください。

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後7日を経過しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせください。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 平成27年1月25日（日）必着

【申込先（お問い合わせ）】

メールアドレス

endai.entry@shizuhogi.jp

* 件名に「演題申込」と明記してください。

郵送（FAX）される場合（原則はメールで）

〒420-0064

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

（公社）静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954

FAX 054-251-9690

* 封書に朱書きで「演題申込書」と明記してください。

演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区 分 内 容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・CR・DF撮影技術 機器、補助具、品質管理 感光材料、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用 その他
X 線 C T	B	CT撮影・処理技術 機器、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用 その他
M R	C	MR撮影・処理技術 機器、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用 その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用 その他
放射線治療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理 その他
その他の検査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破碎装置 眼底撮影、その他
放射線管理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算 その他
画 像 情 報	I	増感紙・フィルム特性、現像機、レーザーイメージャー 画像解析、画像評価、画像処理技術 PACS、画像通信・保存、インターネット その他
情報管理・運営	J	業務統計処理、診療報酬 オーダリングシステム その他
ペーシェントケア	K	

平成 年 月 日

第 20 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 (平成 27 年 1 月 25 日 (日) 必着)

演 題 名 (区分番号)	() 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号	氏 名
発 表 者			
共同発表者			
演 題 予 稿 原 稿 (300 字程度に おまとめくだ さい)			
代表者連絡先	氏 名		
	住 所 〒		
	所 属		
	TEL (内線)	FAX	
	E-mail		
通 信 欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えのないようにお願いいたします。

送付先 E-MAIL : endai.entry@shizuhogi.jp FAX : 054-251-9690

会 告

『平成26年度診療放射線技師基礎技術講習MRI検査』

平成22年度より日本診療放射線技師会が実施することになった診療放射線技師基礎技術講習は、すべての診療放射線技師を対象とした基礎技術講習です。医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としています。

今年度、静岡県は中日本地域においてMRI検査を担当します。下記の内容にて開催いたしますので多くの方々の参加をお待ちしております。

記

【日 時】 平成26年12月 7 日(日)

【場 所】 アクトシティ研修交流センター 61, 62研修交流室
静岡県浜松市中区板屋町111-1 TEL 053-451-1111

【参 加 費】 会員 3,000円 非会員10,000円

【申込方法】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習・イベント参加申込み」から申込み下さい。11月23日(日)まで受付中。
(JART 情報システムは会員、非会員を問わず登録可能)

【内 容】

- 9 : 05～ 受付
- 9 : 25～10 : 10 MRのハードウェア
- 10 : 10～10 : 55 基礎原理
- 11 : 00～11 : 45 パルスシーケンスと画像コントラスト
- 11 : 45～12 : 30 各種パラメータと各シーケンスの画質への影響
- 13 : 20～14 : 05 撮影技術
- 14 : 05～14 : 50 アーチファクト
- 15 : 00～15 : 45 性能評価JR
- 15 : 45～16 : 30 安全管理
- 16 : 40～17 : 10 臨床技術能力検定

注意：アクトシティ浜松では全館9:00以前は施設に入れません。ご了承下さい。



在来線・新幹線ともJR浜松駅をご利用下さい。JR浜松駅からは徒歩で5～10分程です。

会場の詳細はアクトシティ浜松のホームページをご覧ください。

<http://www.actcity.jp/about/>

生涯教育委員

会 告

『第8回 医療安全セミナー』

最近、チーム医療の推進関連の1つにあった「読影補助」に関して様々なセミナーが開催されています。医療安全推進委員会はもう1つの「放射線検査等に関する説明と相談を行うこと」に関して会員の皆様と共に考えていきたいと思えます。

検査に関する説明や相談は医療安全の第一歩となります。是非ご参加ください！

記

【日 時】 平成26年12月13日(土) 14時00分～

【場 所】 静岡県放射線技師会事務所

〒420-0064 静岡市葵区本通り1-3-5 フェリス本通202号

【参加費】 無料

【内 容】

14:00～14:30受付

14:30～15:00 報告「認定放射線被ばく相談員講習会に参加して」

医療安全推進委員長 田沢 範康

15:00～15:30 講演1「造影剤使用時におけるインフォームドコンセント(仮)」

第一三共株式会社 東海支店 エリア統括第二部

造影剤・肝臓領域担当 佐々木 達

15:30～16:30 講演2「放射線検査説明に関するガイドラインについて」

公益社団法人日本診療放射線技師会

放射線検査説明・相談促進委員会委員長 麻生 智彦

静岡県放射線技師会事務所におきましては、無料の駐車場は用意しておりません。

参加者は、有料の駐車場をご利用頂くか、公共の交通機関をご利用してご参加ください。

JR静岡駅から

・駅から徒歩 (所要時間:20分)

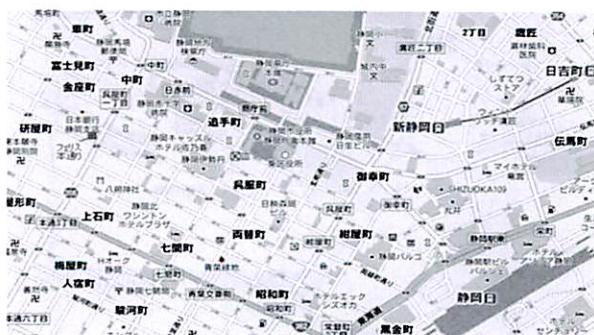
・静岡駅北口、バスターミナルから、本通り6丁目方面(80,84,85,92,96,97,98)に乗りし、「本通り3丁目」にて下車。
(所要時間:10分)

静岡県放射線技師会事務所

静岡市葵区本通1丁目3番地5

フェリス本通り202号

TEL 054 (251) 5954



会 告

『第25回放射線技師のためのセミナー』

第25回放射線技師のためのセミナーを下記の通り開催いたします。

今回は、多くの施設で行われているデジタル一般撮影をテーマとして取り上げました。身近な話題が中心となりますので、多数の方の参加をお願いします。

記

【日 時】 平成27年1月17日(土)
13:30～17:00 (受付13:00～)

【場 所】 静岡県放射線技師会新事務所
静岡市葵区本通一丁目3番地5
フェリス本通202号

【参加費】 1,000円

【内 容】

13:30～14:45 最新技術講演 「FPDの最新技術 (仮)」
Fujiフィルムメディカル
コニカミノルタヘルスケア

14:45～15:25 会員発表 テーマ 「CRからFPD更新に伴う撮影条件について」
静岡市立清水病院
聖隷見方原病院

休憩 (10分)

15:35～16:05 最新技術講演 「Exposure Index値の製品への応用 (仮)」
Philips

特別講演

16:05～17:00 「デジタル一般撮影における線量指標Exposure Indexについて」
～ 基礎知識と臨床運用への課題 ～
奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部 中前光弘先生

会 告

『新春公開講演会開催』

新春公開講演会を下記の通り開催致します。

公開講演では、さまざまながんの原因となる喫煙について、喫煙とがんおよび禁煙外来についての講演によりがんのリスクの低減を考えます。また教育講演では、タルボ・ロー干渉計によるX線画像技術の講演により、従来の吸収コントラスト法によるX線撮影では診断に適した画像を得ることがむずかしい軟部組織や軟骨の描出を可能にする位相コントラスト法の技術を紹介しします。つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

講演会終了後、懇親会としてアール祭を開催いたします。新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 平成27年1月24日(土) 13:30~16:15

【会 場】 静岡労政会館 6F ホール

〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町5-1

TEL 054-221-6280

※公共交通機関をご利用ください。

【内 容】

13:30~ 受付

13:55~14:00 会長挨拶

14:00~15:00 公開講演

『喫煙とがん～禁煙外来を利用してがんのリスクを減らそう～』

講師：静岡赤十字病院 院長 磯部 潔 先生

座長：静岡赤十字病院 放射線科技師長 松島 俊光 会員

15:00~15:15 休憩

15:15~16:15 教育講演

『タルボ・ロー干渉計によるX線画像技術～スーパーレントゲンとは～』

講師：コニカミノルタヘルスケアカンパニー開発統括部 長束 澄也 先生

座長：磐田市立総合病院 天野 宜委 会員

※引き続き親睦会（アール祭）が開催されます。

詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

* 技師会員はIDカードをご持参ください。

会 告

『第23回アール祭開催』

新春公開講演会終了後、第23回アール祭を開催いたします。

新年のご挨拶の場、親睦を深める場としてご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成27年 1 月24日(土) 17:00～

【会 場】 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」内 1階

レストラン azalea

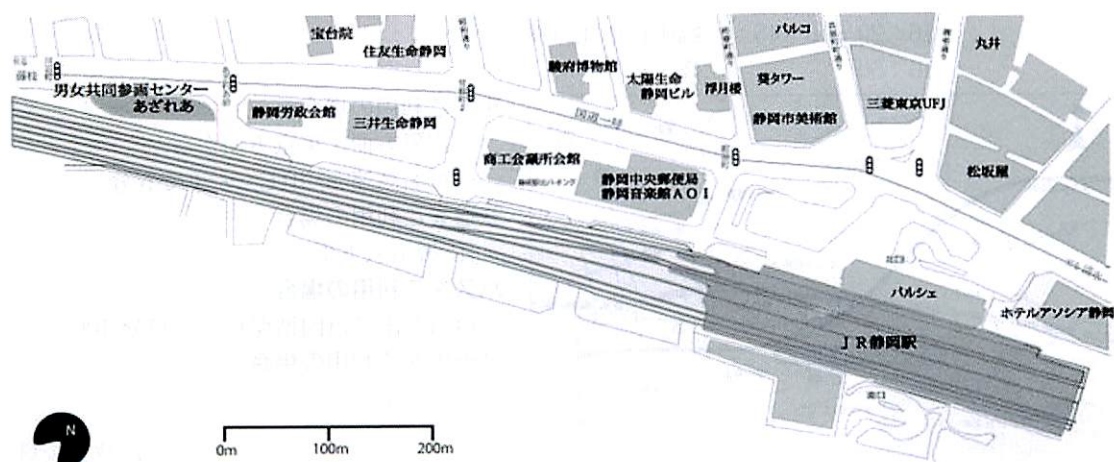
〒422-8063 静岡県静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

TEL & FAX 054-273-8588

【内 容】 第23回アール祭 (新春祝賀会)

【会 費】 正会員 4,000円

賛助会員 4,000円



会 告

『平成26年度 第2回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会』

厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ「CT、MRI検査等において造影剤投与終了後の静脈注路の抜針及び止血を行うこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されてきました。

この度、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律の整備に関する法律案（医療・介護制度改正の一括法案）が平成26年6月18日に成立し、25日に公布されました。これに伴い、日本診療放射線技師会は平成26年度も昨年度に引き続き各県で静脈注射（針刺しを除く）講習会を開催いたします。静岡県では下記のとおりです。

記

- 【日 時】 平成27年2月8日(日)
- 【場 所】 中東遠総合医療センター 3F大会議室
〒433-8555 静岡県掛川市菖蒲ヶ池1-1
- 【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART 情報システム内のメニュー「生涯学習・イベント参加申込み」から申込み下さい。
申込期間は12月7日(日)から1月25日(日)までです。
(JART 情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です。)
- 【内 容】
- | | |
|-------------|-------------------------|
| 9:30～ | 受付開始 |
| 9:50～ | 開講式 |
| 10:00～10:45 | 静脈注射に関わる診療放射線技師の法的責任 |
| 10:45～11:45 | 静脈注射と感染管理 |
| 12:45～13:30 | 薬剤（造影剤）に関する知識・造影剤の基礎知識 |
| 13:30～14:30 | 合併症への対応 |
| 14:45～16:15 | 抜針の実際
・シミュレーターを用いた演習 |
| 16:20～16:45 | 臨床技術能力検定 |
| 16:50～ | 修了式 |



車をご利用の場合

名古屋方面・東京方面から
…東名高速 掛川I.C. → 車で5分

鉄道をご利用の場合

JR 掛川駅下車

バスをご利用の場合

南口を出て市内循環線にて11分 100円

駐車場をご利用の場合

760台 駐車可能（無料）

生涯教育委員

会 告

『乳腺についての合同研修会』

第63回超音波部会・第25回乳腺画像部会 合同研修会

今回は浜松医科大学の那須先生をお招きし、『読影医が求める乳腺画像』についてご講演いただきます。

それに加え、乳房超音波検査、マンモグラフィ撮影の基礎をテーマに開催致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

【日 時】 平成27年 2月14日(土) 14:00～

【場 所】 浜松労災病院

〒430-8525 静岡県浜松市東区将監（しょうげん）町25

TEL (053) 462-1211

【参加費】 1000円

【内 容】

14:00～14:15 受付開始

14:15～14:20 研修会開始

会員挨拶

14:20～14:40 メーカー講演

14:45～15:15 『超音波の基礎』

超音波部会員

15:15～15:45 『マンモグラフィの基礎 ～今さら聞けないポジショニング～』

聖隷三方原病院 画像診断部

河合陽子

15:45～16:00 休憩

16:00～17:00 特別講演

『読影医が求める乳腺画像について』

浜松医科大学附属病院 放射線科

那須初子先生

会 告

『第2回静岡県MRI技術研究会・第43回アンギオ部会研修会』

近年、頭部領域に関する診断機器の進歩が著しく、DSA装置に関しては、hybrid operation roomで使用され、技師の業務領域の拡大が見込まれ、装置自体も cone beam CTやアプリケーションの進歩により様々な情報を付加することが可能となっています。形態情報がメインであったCT、MRでも4DCTAやASLといった機能情報を付加することができるようになっています。また、RIについては、2014年2月にDAT scanが発売され神経変性疾患領域では注目されています。

開催日程 2015年2月14日(土) 14:00～18:30

受付 13:00～

会場 ペガサート 6F B-nestプレゼンテーションルーム

会場整理費 1000円

～プログラム～

14:00～14:30 共催メーカー情報提供

14:30～ 基礎講演

14:30～15:00 症例報告

「ハイブリッドORにおけるTAVI症例について(仮)」

15:00～15:30 MRI

「Arterial Spin Labelingの臨床への適応(仮)」

15:30～15:40 休憩

15:40～16:10 CT

「頭頸部CTAngioおよびCTPerfusionにおける撮影技術と臨床応用(仮)」

16:10～16:40 アンギオ

「頭頸部領域IVRとコーンビームCTの実際(仮)」

16:40～17:10 RI

「神経変性疾患における核医学検査の臨床利用について(仮)」

17:10～17:20 休憩

17:20～18:20 教育講演「術前に脳神経外科医が必要とする画像と機能情報(仮)」

※本会は、

1. 日本磁気共鳴専門技術者認定機構により、磁気共鳴専門技術者更新点数5単位
2. 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構の認定講習会
3. 日本救急撮影認定機構の認定講習会 の認定を受けております。
4. CT認定技師更新点数 単位申請中

共催：バイエル薬品株式会社



会 告

『第56回東海四県放射線技師学術大会』

【テーマ】 「チーム医療における読影補助を考える」

【日 時】 平成27年 2月15日(日) 9:00~16:00

【場 所】 メルパルク名古屋 2階 瑞雲の間
名古屋市東区葵 3-16-16

【当 番】 (公社)愛知県診療放射線技師会

【参加費】 会費 1,000円、非会員 2,000円、学生500円(学生証提示)

【共 催】 東海四県放射線技師会／第一三共株式会社

プログラム

9:30~9:35 当番県挨拶 (公社)愛知県診療放射線技師会会長 佐野 幹夫

9:35~9:50 情報提供

第一三共(株)東海支店 エリア統括第一部 造影剤・肝疾患担当 工藤 賢司

9:50~10:50 講演1 「チーム医療における診療放射線技師の関わり(仮題)」

10:50~11:50 講演2 「各施設におけるチーム医療の実践」 3施設

①メディカルコーチング ②放射線治療 ③救命救急

12:00~12:50 ランチョンセミナー 「診療放射線技師の読影補助について(仮題)」

13:00~14:00 特別講演 「Aiに関する講演」

14:00~15:45 シンポジウム 「チーム医療における読影補助」 4施設

①CT・MRI ②乳房 ③US ④救命救急・血管撮影

15:45~16:00 京都府放射線技師会 H27年度 全国大会のPR

当番県会長挨拶 (公社)岐阜県診療放射線技師会会長 安田 鋭介

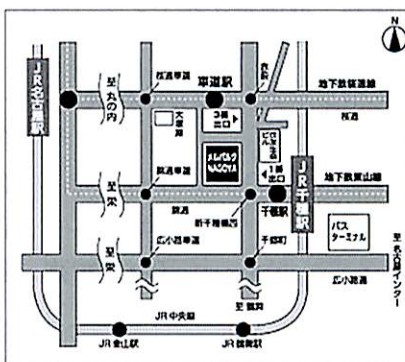
16:00~ 日本診療放射線技師会理事挨拶 畦元 将吾

ご案内図



(公共交通機関で利用のお客様)

- JR名古屋駅から中央線で8分「千種駅」下車、地下鉄1番出口前
- 地下鉄東山線「千種駅」下車、1番出口前
- 地下鉄桜井線「車道駅」下車、3番出口南へ2分



会 告

『平成26年度 静岡県放射線技師研修会』

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の中で、診療放射線技師の更なる役割として、画像診断における読影の補助を行うことが1つとして求められています。

平成25年度は「上部消化管検査における読影補助業務」をテーマに研修会を開催しました。今年度は第二段として「読影補助業務について考える：超音波検査編」で行います。下記のように研修会を開催いたしますので、ご参加下さい。

記

【日 時】 平成27年 3月14日(土)

【場 所】 静岡県産業経済会館 第1会議室
〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 TEL 054-273-4330

【参加費】 会員：無料 非会員：2000円
*会員はIDカードをお持ち下さい。*公共交通機関をご利用下さい。

【内 容】

- 1、メーカーによる最新の機器、技術の紹介 14：30～16：00
(GEヘルスケア 日立アロカメディカル 東芝メディカルシステム)
- 2、特別講演 仮演題「超音波検査における読影の留意点」 16：10～17：10
講師 静岡県がんセンター検査科副技師長 米山 昌司 先生
- 3、シンポジウム 「超音波検査における読影補助について考える」 17：20～18：50
司会 奥川 令 会員(静岡済生会総合病院)
シンポジスト 中村 元哉 会員(浜松南病院)
早坂みさを 会員(静岡県立総合病院)
岡村 将弥 会員(N T T東日本伊豆病院)
他1施設予定

会 告

『肺がん検診エックス線撮影従事者講習会 開催』

下記の通り、肺がん検診エックス線撮影従事者講習会を開催します。
多数の会員の皆様方にご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 平成27年3月21日(土) 15:00～16:30

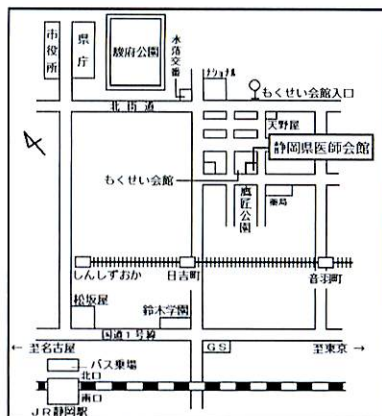
【会 場】 静岡県総合研修所 もくせい会館 第一会議室
〒420-0839
静岡市葵区鷹匠3丁目6-1
TEL 054-245-1595 FAX 054-245-1669

(交通機関)

- ・ J R 静岡駅北口よりタクシーで10分
- ・ 静岡駅北口から出るバスに乗車
「水落町もくせい会館前」で下車、徒歩2分。

【共 催】 静岡県対がん協会、(公社)静岡県放射線技師会

【後 援】 (社) 静岡県医師会



～プログラム～

14:30～ 受付
15:00～16:30 講演内容は未定
※後日ホームページにてご確認ください。

国立大学法人 浜松医科大学 地域医療講座 特任教授 山岡 泰治 先生

* 放射線技師会会員はIDカードをご持参ください。

第35回静岡ふれあい広場

平成26年9月7日(日) 9:30~15:00
静岡市葵区 青葉シンボルロード

今年も9月7日(日)に静岡市社会福祉協議会が主催する「第35回静岡ふれあい広場」に参加いたしました。

静岡県放射線技師会の参加は、日本放射線技師会の定める「レントゲン週間」の一環として参加しており、今年で16回目の参加となります。レントゲン週間では、医療における放射線の管理者として、正しい知識を皆様にお伝えするとともに、医療現場における私たちの仕事を知っていただくイベントを行っています。

静岡県放射線技師会は、ふれあい広場というイベントを通して、多くの県民の皆様と直接ふれあい、病気や検査方法、医療放射線の利用、医療被ばくについて正しい知識と認識をしていただくための活動を行い、また、診療放射線技師が適切な管理のもとで医療放射線を取り扱い、県民の皆様の健康に大いに貢献していることを知っていただくという目的もあります。



技師会のブースを紹介しますと、腹部超音波検査無料体験、骨密度検査無料体験、乳がん検診自己触診のすすめ、医療被ばく相談を行いました。また、診療放射線技師の仕事を紹介したパンフレットを来場者に配布しました。そして、例年参加しているスタンプラリーにも参加しました。

参加役員は、中部地区会の皆さん、超音波部会、管理士部会、乳腺画像部会、医療安全推進委員会、そして今年も日立アロカメディカル株式会社、東芝メディカルシステムズ株式会社に機器の貸し出しや荷物搬送で協力をいただきました。

さて、今年も会場となったのは、静岡市青葉シンボルロード。前の晩、静岡市内は雷が鳴り響き、開催が心配されるほどの大雨になったのですが、当日の朝は雨もすっかり上がり、ちょっと暑いぐらいの良い天気となりました。

午前8時30分に役員集合。会場準備をはじめたところで、いきなりハプニング発生。主催者の都合で今年から会場が縮小されていたため、例年どおりのブースレイアウトが作れなかったのです。しかも超音波ブースの暗幕が手違いにより届いていないことが発覚。しかし、中部地区会長を中心に、役員の皆様の機転により、うまくレイアウトを変更していただき、9時30分の開始に間に合うことができました。

今年は、会場全体の来場者はやや少ない印象でしたが、静岡県放射線技師会では、どのブースも過去最高の来場者となりました。特に中部地区会の皆さんによる呼び込みが効果的で、乳腺画像部



乳がんの検診『自己触診のすすめ』

会による「乳がん検診のすすめ」は、なんと昨年の2倍もの来場者がありました。

ポイントラリーでは、野菜やゲーム機などのレントゲン写真をクイズにして当ててもらいました。普段目にしない不思議なレントゲン写真に、子供だけでなく大人も興味津々でした。



スタンプラリーの様子。「これはなんでしょう？」

医療被ばく相談では、「検査でCTを頻回に撮影したが被ばくは大丈夫か？」等の放射線検査への不安が半数を占めました。



医療被ばく相談

この日、ブースを訪れた延べ人数は545名、内訳として、

・腹部超音波検査無料体験	140名
・骨密度検査無料体験	256名
・乳がんの検診『自己触診のすすめ』	141名
・医療被ばく相談	8名
・啓蒙パンフレット配布	約130部

今回の印象は、役員皆さん、和気あいあいとした雰囲気、チームワークがとても良く、来場者や他の出展者への接遇が大変すばらしいと感じました。



毎年大人気の骨密度検査無料体験ブース。今年も多くの方に体験していただきました。

最後に、第35回静岡ふれあい広場に参加していただきました会員・賛助会員の皆様に心よりお礼申し上げます。

来年もよろしくお願いいたします！

参加会員29名・賛助会員3名（敬称略）

超音波部会	
澤口信孝	溝口賢哉
斉藤友紀	福島知之
玉田宏一	
管理士部会	
池谷正治	根岸賢哉
神田直樹	清 広和
青島 満	松谷季能
糟谷信貴	鈴木康太
乳腺画像部会	
斉藤 忍	河合陽子
神谷有希	熊谷暢子
医療安全推進委員会	
田沢範康	鈴木久士
中部地区会	
望月浩正	大瀧篤志
佐野文香	常葉勇介
滝井 剛	鈴木邦幸
村田昌也	石田眞貴廣
望月尚子	
常任理事	
市川和秀	
賛助会員	

日立アロカメディカル株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

（広報理事 市川和秀）

平成26年度第1回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会 報告

平成26年 9月 7日(日)
中東遠総合医療センター

平成26年 9月 7日(日)に中東遠総合医療センターにて、第1回静脈注射(針刺しを除く)に関する講習会を開催しました。

本講習会は日本診療放射線技師会が主催し、各県放射線技師会において平成25年度より開催しています。厚生労働省「チーム医療推進方策検討ワーキンググループ」において、診療放射線技師の業務範囲の見直しに関する検討が行われ「CT、MRI検査等において造影剤投与終了後の静脈注路の抜針及び止血を行うこと」が取り上げられ、十分な教育・研修を行うことを条件に実施できる方向で検討されてきました。この度、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための法律の整備に関する法律案(医療・介護制度改革の一括法案)が平成26年 6月18日に成立し、25日に公布され認可されました。これに伴い、日本診療放射線技師会は平成26年度も昨年度に引き続き、各県で静脈注射(針刺しを除く)講習会を開催することとなりました。残暑が厳しい日でしたが、37名が受講し、その内県外から4名、非会員は12名でした。最も遠方は群馬県から受講された方もいらっしゃいました。

講義はDVDを放映する形式で行われました。午前中は「静脈注射に関わる診療放射線技師の法的責任」を診療放射線技師から、「静脈注射と感染管理」を感染管理認定看護師から説明を受け、午後は「薬剤(造影剤)に関する知識」を薬剤師から、「合併症への対応」を医師から説明を受けました。その後、シミュレーターを用いた実習に入りました。まずは3人の看護師の講師の方々から抜針に際しての手技と注意点の説明を受け、デモンストレーションを行いました。受講生を3班

に分けて抜針する役、患者の役を各人が担い、実習中はその都度、講師からのチェックが入りその場で指導を受けました。患者役から難解な質問を受けるなど、受講生にとっては刺激があり、皆、緊張した面持ちで実習を受けていました。最後に講師から総評をいただき、確認テストを実施して、全てのカリキュラムが終了となりました。

静脈抜針は法的な縛りが緩和され法整備が整いました。静脈抜針を診療放射線技師が実施するかどうかはそれぞれの施設の考え方によりますが、いつ何時、実施するように依頼されても対応できるように準備しておくことがこの講習会に参加する意義だと思います。この講習会をベースに、各施設において教育や研修を行い、安全で安心な医療を提供できるようにお願いしたいと思います。本講習会は引き続き開催していきますので、今後とも多数のご参加をお待ちしております。

(生涯教育委員 曾我 隆正)



第62回超音波部会研修会 報告

平成26年10月4日(土)
静岡県放射線技師会事務所

平成26年10月4日(土)、第62回超音波部会研修会が開催されました。今回の研修会は、この時期恒例となりました症例発表大会です。大型台風18号の接近が心配でしたが、参加者も30名以上集まり、無事に開催することができました。

県下各施設から8演題がエントリーされ、前半の部と後半の部に分かれ、座長2名ずつで会が進行していきました。

演題1は、島田市民病院 辰巳勝之会員による「特異的な症状を呈した大腸癌の症例」です。左大腿伸展時の痛みのため各種検査が施行され、大腸癌に伴う下行結腸腸腰筋穿通による化膿性腸腰筋炎と診断されました。患側股関節の屈曲拘縮は腸腰筋肢位と呼ばれ、本症で特異度の高い所見との報告でした。

演題2は、菊川市立総合病院 戸塚 敏会員による「成人の腸重積の一例」でした。腸重積と言えば乳幼児に多くみられる疾患ですが、成人にも稀にみられます。成人腸重積の原因の多くは腫瘍ですが、非腫瘍性として憩室、炎症、術後が原因となることもあります。今回の症例は憩室が原因となった成人腸重積で珍しい症例の報告でした。

演題3は、静岡済生会総合病院 奥川 令会員による「中皮腫の症例」です。食欲不振、右季肋部から側腹部痛の原因と考えられた腹膜中皮腫について動画を交えて報告してくれました。

後半に移って、演題4は、静岡県立こども病院 藤下真澄さんによる「拘束型心筋症の一例」です。学校心電図検診で異常を指摘され、精査により拘束型心筋症の診断となった症例です。非常に予後不良な病気で有効な治療法は心移植のみです。早期発見はなかなか困難ですが、学校検診等で心

電図異常を拾い上げ、心電図変化を考慮して症例に応じた精査を行う事が重要であるとの発表でした。

演題5は、中東遠総合医療センター 春田孝博会員による「左腋窩にリンパ節腫脹を認めた乳児の検討」です。BCG接種後1%程度に腋窩リンパ節腫脹がみられることがあり、単発が多いが長期の経過例もみられるという報告でした。

演題6は、静岡市立清水病院 佐野文香会員による「当院で経験した限局性結節性過形成の一例」です。腹部超音波検査で多発肝腫瘍がみられ、ダイナミックCTとEOB-MRIにてFNHが疑われ、切除にて確定診断がなされた症例の報告でした。巨大で肝被膜下へ突出する腫瘍もあり、インパクトの強い画像を提示してくれました。

演題7は、藤枝市立総合病院 溝口賢哉会員による「左季肋部痛の一例」です。救急外来での検査で制約がある環境下ですが、様々な所見を指摘してくれました。他画像所見等と併せて、後方視的にもUS画像を検討して診断を示してくれました。

演題8は、富士市立中央病院 澤口信孝会員による「腹部超音波検査が契機となって発見された腹部三重複癌の一例」です。他臓器悪性疾患存在下での多発肝腫瘍についての評価がキーポイントと思われました。

今回で3回目の症例発表会ですが、多彩な疾患、所見を勉強できる良い機会と考えます。発表者、参加者ともに有意義な場であると思いますので、来年も楽しみにしたいと思います。

演題1：特異的な症状を呈した大腸癌の症例

高田市民病院 診療放射線室 辰巳 勝之

患者：57才 女性

主 訴：左股関節痛で総合診療科受診。左大腿を伸展すると痛みあり。

既往歴：なし

現病歴：高血圧にて近医通院中。

臨床所見：白血球数 $14100/\mu\text{l}$ 、CRP 14.5mg/dl で炎症反応は高値。Hgb 10.3g/dl と低値。CEA 103.4ng/ml 、CA19-9 85U/ml と高値。その他、肝機能等に異常値なし。

超音波検査所見

左下腹部に $39\times 36\text{mm}$ の辺縁不整、不明瞭な低エコー腫瘍あり。

肝S7に辺縁やや低エコーで境界明瞭な腫瘍あり。

内部エコーは高エコーでやや不均一：meta疑い

他画像診断所見（CT所見）

肝S7に 45mm 大の腫瘍。輪状濃染には乏しい

ので、膿瘍より転移などの可能性が高い。

左腸腰筋にはガスを含む膿瘍が見られる。

下行結腸の下部に全周性壁肥厚があり、大腸癌と思われる。

左腸腰筋膿瘍と密に接している部分があり、穿通している可能性もある。

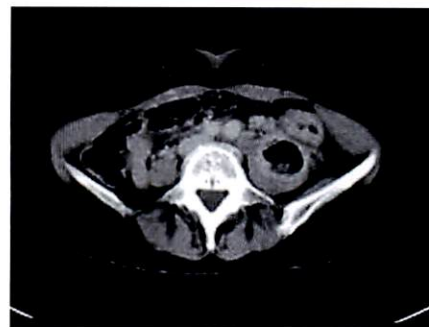
結果

下行結腸癌（中分化型管状腺癌）に転移性肝腫瘍と腸腰筋膿瘍が併発した症例であった。

考察

腸腰筋膿瘍は最近ではCrohn病、大腸憩室炎、大腸癌などの消化器疾患や腸腰筋隣接臓器からの炎症波及により発生することが多い。

消化管腫瘍だけではなく周囲組織の変化にも留意して超音波検査を施行していきたい。



演題2：成人の腸重積の一例

菊川市立総合病院 戸塚 敏

患者背景（既往歴・現病歴等）

90歳 男性

主 訴 心窩部・右季肋部痛。嘔吐。

既往歴 10年前に腸閉塞（腹部開腹手術なし）

現病歴 朝から消化不良のような腹痛。2回嘔吐。時間とともに心窩部・右季肋部痛が強くなり当院救急外来を受診した。

超音波検査所見：

右側腹部に小腸の拡張あり。その近傍にターゲットサインを疑う所見あり。

その他、腸管内に腸管が入り込んだような所見あり。

他検査所見：

血液検査：WBC $12220/\mu\text{l}$ 、RBC $327\times 104/\mu\text{l}$ 、Hgb 11.1g/dl 、Ht 32.6% 、MCV 99.7fl 、PLT $30.2\times 104/\mu\text{l}$ 、CRP 10.2mg/dl 、AST (GOT) 19IU/l 、ALT (GPT) 11IU/l 、LDH 272IU/l

ALP456 IU/l、 γ -GTP 9 IU/l

CT検査：小腸主体に腸管拡張を認め、小腸イレウスの状態。

右側腹部で腸重積と思われる所見あり。

重積部の腸管も含めて腸管の染まりは保たれている。



拡張する小腸



ターゲットサイン

演題3：中皮腫の症例

静岡済生会総合病院 奥川 令

【患者】 82歳 男性

【既往歴】 下肢動脈塞栓症

【生活歴】 自営業。製造業と言うことであったが、配管設備が主体の仕事を行っていたようであった。他、アレルギーなし、飲酒歴ビール1本毎日、喫煙歴1日15本であった。

【現病歴】 昨年春頃から食欲低下。酷いときは食事がとれない状態だった。昨夜より右季肋部から側腹部が痛み、来院となった。

【超音波所見】 胃前庭部から幽門部にかけて、第4

層（固有筋層）主体と思われる不均一な肥厚を認めた。胃幽門部壁外に1.0mくらいのリンパ節腫大が疑われるエコー結節を認めた。また、右横隔膜下に均一な低エコー部分を認めた。肝臓との境界は明瞭で、内部に血流信号を認めた。以上より、胃の非上皮性腫瘍（悪性リンパ腫、GISTなど）と横隔膜腫瘍が疑われた。

【他検査所見】 血液検査、生化学検査においては有意な所見は認めなかった。胃内視鏡検査にて、胃前庭部から幽門部にかけて、SMT（胃粘膜下腫瘍）様の病変を認めた。CT検査において、右横隔膜の著名な壁肥厚と胃壁の肥厚を認めた。また、造影CT検査においては、肥厚部分に濃染を認めた。このCT検査により、中皮腫が疑われ腹腔鏡下での生検施行となった。病理診断により、悪性中皮腫と診断された。

【考察】 胸部、腹部臓器は胸膜、心膜、腹膜など膜に包まれています。これらの膜の表面を覆っているのが「中皮」で、この中皮から発生した腫瘍を中皮腫といいます。部位別の発症割合は胸膜中皮腫70%、腹膜中皮腫20%、心膜中皮腫0.5%で、今回のケースのような胸膜以外での発症は比較的まれとなる。中皮腫の多くの場合、石綿（アスベスト）曝露が原因とされている。アスベストを扱う労働者に多いとされていて、建設業者、アスベスト製造業者などに多いと言われている。アスベストを吸ってから発生までは長く、25年～50年程度で、予後は極めて不良にて1年生存率50%、2年生存率20%と言われている。





演題 4：拘束型心筋症の一例

静岡県立こども病院 臨床検査科 藤下 真澄

【はじめに】拘束型心筋症（以下RCM）は左室拡張障害を主体とする(1)硬い左心室の存在、(2)左室拡大や肥大の欠如、(3)正常または正常に近い左室収縮能、(4)原因（基礎心疾患）不明の4項目が診断の必要十分条件とされている稀な心筋症であり、わが国の有病率は人口10万人あたり0.2人である。特に小児においては予後不良の経過をたどる事が多く心臓移植の対象疾患となっている。今回RCMと診断された症例を経験したので報告する。

【症例】6歳男児。2007年二絨毛膜二羊膜双胎の第二子として出生。生来健康で運動発達異常なし。小学校1年生の学校心電図検診で異常を指摘され近医受診。RCMを疑われ2013年9月当院に精査加療目的で受診となる。

【身体所見】身長111cm、体重19kg、
血圧91/57mmHg、心雑音なし。

【検査所見】〈胸部レントゲン〉CTR 56%、軽度肺うっ血あり。〈心電図〉洞調律78bpm、II,III,aVfでストレインパターンのST低下と左房拡大を認めた。〈血液検査〉BNP 377.4pg/mL。〈経胸壁心エコー図〉LVDd/Ds=37/24mm、IVSd/PWd=7/7mm、EF=66%、LAVI=60mL/m²、E/A=2.0、DT=95、e'=5cm/s、E/e'=15、左房拡大と左室拡張障害（拘束パターン）を認めた。

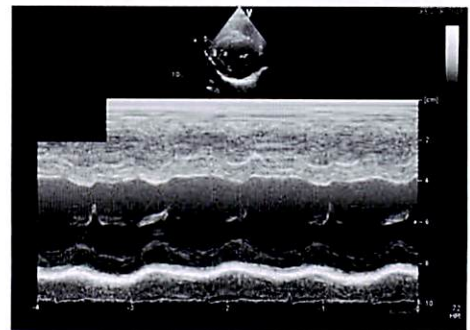
〈心臓MRI検査〉心外膜肥厚は認めなかった。

〈心臓カテーテル検査〉PCWP=20mmHg、

LVEDP=21mmHgと高値であった。平均肺動脈圧=30mmHgと肺高血圧所見も認めた。〈心筋生検〉病理結果において代謝性疾患による心筋への異常蓄積所見は見られなかった。以上の結果、RCMと診断された。

【考察】臨床的には他の拘束性障害をきたす心筋症や収縮性心膜炎との鑑別が重要である。

RCMは左室に拡大および肥大を呈さず左室駆出も正常に近いため、学校検診の心電図異常で精査にきた場合、心臓超音波検査では左房容積を含め拡張能も詳細に評価する事が重要であると思われる。



演題 5：左腋窩にリンパ節の腫脹を認めた乳児の検討

中東遠総合医療センター 春田 孝博

患者背景（既往歴・現病歴等）

6ヶ月の乳児

過去に大きな病気はない。

1ヶ月前に、左上腕にBCGの接種を受けている。

主訴

左腋窩に腫瘤が触れる

5日前から37度～38度の発熱があった。

超音波検査所見：

左腋窩に類円形に腫大したリンパ節を1個認めた。その他にも扁平なリンパ節を数個認めた。右腋窩、頸部に腫脹したリンパ節は認めない。1ヶ月後の検査にて大きさに著変は見られなかった。

他検査所見：

血液検査

CRP 4.7mg/dl (正常値0～0.3)

WBC 16100 μ L (正常値3300～8400)

BCGを接種した乳児の1%に腋窩リンパ節の腫脹を認める。

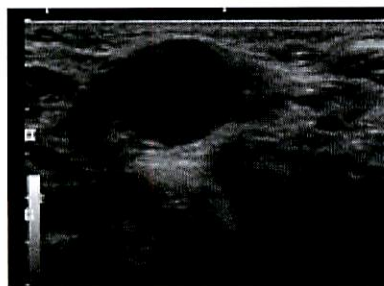
接種から1～3ヶ月後に腫脹することが多く、発熱を伴うこともある。

腫脹するリンパ節の数は1個のみのことが多い(約80%)。

乳児の腋窩リンパ節腫脹の場合は、BCG接種の有無を確認すると診断しやすいと思われた。



初診時



1ヶ月後

演題6：当院で経験した限局性結節性過形成の一例

静岡市立清水病院 佐野 文香

患者背景（既往歴・現病歴等）

28歳女性ブラジル人

健康診断の血液検査で肝機能異常を指摘 γ GTP230の上昇

既往歴なし

アルコール摂取 一週間に1回程度 定期内服なし。

血液検査再検でも γ GTP高値、腹部超音波検査を施行した。

超音波検査所見：

肝臓両葉に7cm以下の肝実質とiso～ややhigh echoの腫瘤が多発 halo-

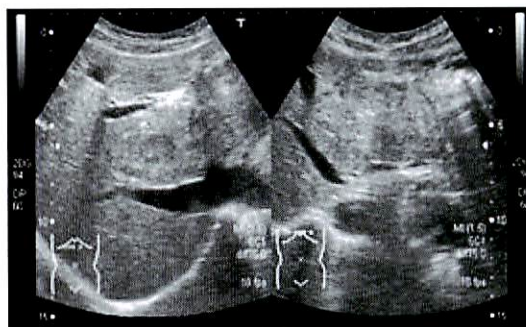
肝外に9 * 8cmの肝実質とiso echo 腫瘤あり 内部は血流豊富で門脈臍部から血管が連続しているように描出される。

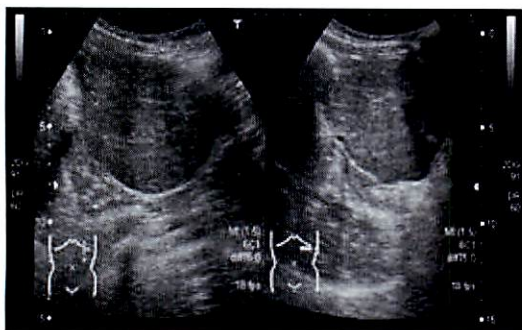
他検査所見：

ダイナミックCT 多発肝多血性腫瘍 FNHうたがいがまたは肝細胞腺腫。

MRI EOBプリモビスト FNHうたがいと診断された。

良性であることだけでなく、肝内にびまん性に認められることから切除は不要、不可能であるが突出した大きな腫瘍に対して捻転等の可能性もあり切除の適応ありとされ手術が行われた。





演題 7：左季肋部痛の一例

藤枝市立総合病院 放射線科 溝口 賢哉

今回我々は脾破裂を伴う伝染性単核球症（Infectious Mononucleosis；以下IM）を経験したので報告する。

【症 例】32歳男性。

【主 訴】左季肋部痛。

【既往歴】特記事項なし。

【現病歴】頭痛、発熱あり市販の薬で様子をみていたが左季肋部痛は出現し、症状が持続するため当院救急外来受診した。

【入院時身体所見】咽頭：両側扁桃発赤、白苔付着。頸部リンパ触知せず。

【血液データ】抹消血液中に異型のリンパ球の出現を認め、肝胆道系酵素の異常を認めた。

【腹部US所見】救急外来のポータブル装置にて検査施行し、肝腫大と脾腫（図-1）を認め、胆嚢には著明は壁肥厚を呈し少量の腹水が見られ、US上は急性肝炎が疑われた。左季肋部痛の原因となる所見は指摘できなかった。

【CT所見】肝脾腫を認め、脾臓には皮膜下血腫と脾破裂を認め、臨床症状からIMによる脾破裂が疑われた（図-2）。ウイルス抗体検査を実施し、抗EBV-VCA-IgG抗体（+）、抗EBNA抗体（-）、抗CMV-IgG抗体（+）、抗CMV-IgM抗体（+）でEBV（EBウイルス）とCMV（サイトメガロウイルス）の混合するIMによる脾破裂と診断された。IMは主にEBウイルスの初感染によって生じる急性感染症である。EBウイルス以外にもサイトメ

ガロウイルスやエイズウイルスによっても生じる。一般に発熱、咽頭痛、リンパ節腫脹が三特徴とされ、青年期あるいはそれ以上で初感染した場合は全身倦怠感や肝脾腫を認める。脾破裂は非常にまれな合併症でIMの0.1～0.5%と報告されている。Retro spectiveにUS画像をみると脾損傷があるようにもみえる。知識不足とこれまで経験がなかったことからウイルス感染で脾臓が自然破裂することがあるとの発想がなく、USで正しく指摘できなかったことから第62回超音波部会で症例報告させて頂いた。

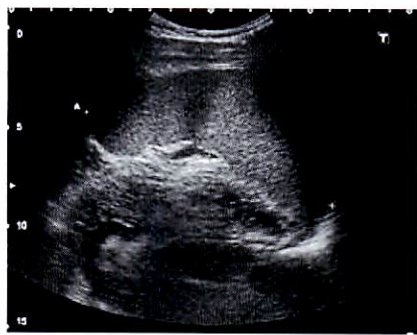


図 1

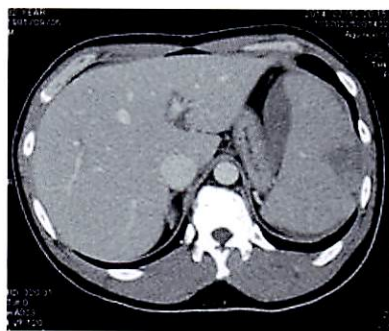


図 2

演題 8：腹部超音波検査が契機となって発見された腹部三重複癌の一例

富士市立中央病院 中央放射線科 澤口 信孝

患 者：77歳 男性。

既往歴：心不全、糖尿病

現病歴：体重減少（16kg /年）、食欲不振、嚥下時違和感にて当院内科紹介受診。

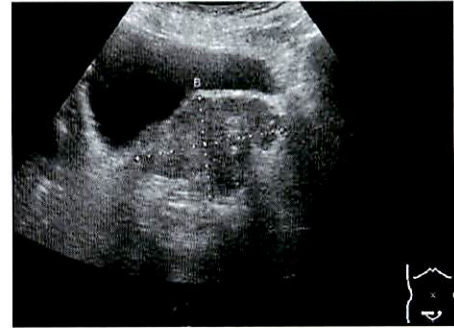
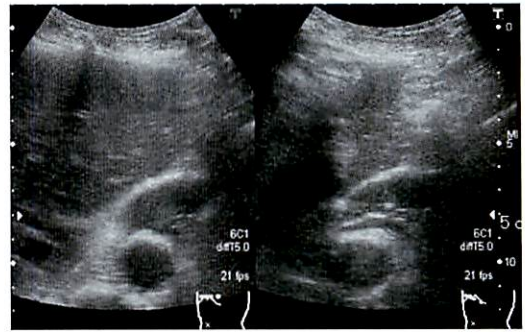
超音波検査所見：多発肝腫瘍、胃噴門部壁肥厚、前立腺の不整腫大あり。

CT：胃噴門部に不整濃染腫瘍、多発肝腫瘍、前立腺に分葉状腫瘍（被膜外浸潤所見あり）。

上部内視鏡：噴門部腫瘍。

結果：PSA著明高値（1028ng/ml）、前立腺生検にて前立腺癌。胃噴門部腫瘍は生検にて腺扁平上皮癌の診断。肝形態や実質エコーに肝硬変所見はみられず、HBs-Ag（-）、HCV-A b（-）。多発肝腫瘍は転移性肝癌を疑ったが、PIVKA著明高値（3583mAU/mL）、造影USで早期濃染→欠損パターン。診断確定・治療方針決定のため肝腫瘍生検にてHCC。

考察：他臓器悪性腫瘍の存在が疑われている状況での多発肝腫瘍（背景肝に肝障害所見は目立たない）では転移性肝癌が考えやすいものの、個々の肝腫瘍性状はHCCとしても矛盾しない画像であった。HCCの可能性を排除せずにより丹念な検討が必要であったと考える。



「注目を集める乳房MRIへの東芝アプローチ技術」

東芝メディカルシステムズ株式会社 営業本部 MRI営業部 千葉 寿恵

乳房MRIが注目される理由

日本人女性の15人に1人がかかる乳癌。欧米では乳癌の罹患率・死亡率ともに減少傾向にあるのに対し、わが国では依然として増え続け、年間1万人以上もの女性が命を落としている^{1) 2)}。乳癌の画像診断においては、マンモグラフィや超音波、MRI、CT、PETなど各々の有用性が報告されているが、なかでも乳房MRIは乳癌の検出感度が高いとされ、欧米での普及に続き本邦でも認知されてきている。日本乳癌学会より発行された乳癌診療ガイドライン2013年度版では、「広がり診断」、「多発乳癌の検出」および「乳房内病変の診療方針決定」におけるMRIの有用性が推奨グレードB（科学的根拠があり実施するよう推奨する）と³⁾、乳房MRIの有用性がより明確に示されている。

さらに近年、遺伝性乳癌になりやすいハイリスク女性（がん抑制遺伝子BRCA1あるいはBRCA2に遺伝子変異をもつ女性）に対するスクリーニングとして、感度が高いMRIが推奨されている³⁾。また30歳未満のハイリスク女性に電離放射線を使う診断検査を行うと、乳癌罹患リスクが有意に上昇するという報告があり、被ばくのないMRIに特に期待が高まっている⁴⁾。その他、乳房切除した患者さんが乳房再建するシリコンインプラント術が保険適用となった。このシリコンインプラントのスクリーニング検査としてMRIの役割が増している。

本稿では、このように大きな注目を集める乳房MRIに対する東芝の技術アプローチの成果を紹介する。

東芝乳房MRIアプローチ技術

■シリコンインプラントのスクリーニング

日本では乳癌と診断された約3割の患者さんが胸筋の温存を伴う乳房の切除手術を受けている。

厚生労働省は2013年7月、乳癌により乳房切除となった患者さんの乳房再建インプラント術の保険適用を通達した。保険適用の対象はシリコンインプラントである。シリコンインプラントは破裂や漏れがあった場合でも乳房の形状が保たれる。このため、このようなトラブルがあっても自覚症状の兆候がない。よって定期的にシリコンインプラントの破裂や漏れを観察可能な画像検査が望まれている。

東芝MRIはシリコンインプラント検査用の撮像シーケンス「PASTA-Si」を搭載、シリコン成分を高信号に描出することができるため、インプラントの内容成分がシリコンであるのか生理食塩水であるのかの識別、さらにはシリコンの漏れの有無を正確に確認することができる（図1）。

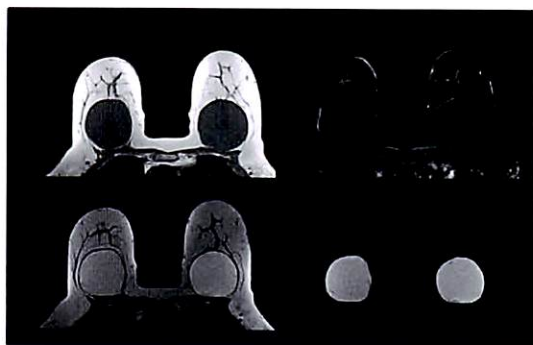


図1. シリコンインプラント画像
(a) T1 WI、(b) 脂肪抑制T2 WI、(c) PASTA-Si、
(d) 脂肪抑制PASTA-Si

■脂肪抑制の技術的課題を克服

乳房は脂肪に富んだ組織である。このため撮像プロトコルの大半は脂肪信号を低信号化する脂肪抑制法が必須とされている。しかし、乳房領域はMRIの中でも、その特殊な形状により脂肪抑制が難しい部位である。

そこで、より確実に高い脂肪抑制効果を得るべ

く、東芝は、独自の脂肪抑制法「Enhanced Fat Free」法を搭載した。本手法は2発の脂肪抑制パルスを組み合わせた手法である。従来法として代表的なCHESS法は、脂肪抑制パルスが1発であるため、部分的なRF強度の違いで脂肪の消え残りが発生する。本手法は2発の脂肪抑制パルスを組み合わせることで、RF強度のムラを低減し、消え残った脂肪を確実に抑制することができる(図2)。通常では2発の脂肪抑制パルスを印加すると撮像時間の延長が気になるが、Enhanced Fat Free法は縦磁化の回復を待たないため、SPAIR法のような撮像時間の延長がないことが特長である。すなわち、Enhanced Fat Free法は、より高い時間分解能が求められる脂肪抑制Dynamic検査において、さらに高い有用性を発揮する。

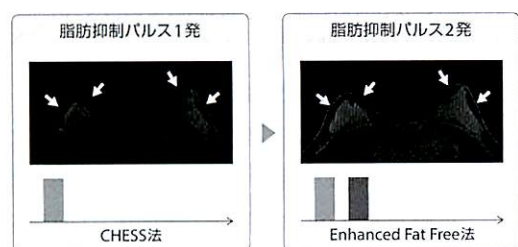


図2. 脂肪抑制法の比較

■より高精度で有用な乳房検査へ

乳房MRIに必須の脂肪抑制Dynamicには、高い空間分解能と時間分解能の両立が求められる。この両立には高いSN比を得ることが大前提となる。東芝の乳房専用コイル「プレストSPEEDER」は、コイル位置が固定された従来のコイルと異なり、コイルそのものを上下左右の任意な位置に可動できる。このユニークな機能により、乳房の形状や大きさに応じてコイルを密着させることが可能となる。結果的に、SN比が従来に比べて大幅に向上する。欧米人に比べ体格が小さい日本人でも、コイルを背中方向に近づけることで乳房をコイル中心で捉えることができるため、体格に合わせた効率のよい信号収集が実現できる(図3)。プレストSPEEDERで高いSN比を確保した上で、高い

空間分解能と時間分解能を両立した高画質の脂肪抑制Dynamic検査を実施できるのである。また、本コイルはMRIガイド下生検にも適応している。コイルエレメントを移動できるため、従来はアプローチが難しかった大胸筋に近い病変に対して、コイルを背中方向に上げて容易にアプローチすることが可能となる。プレストSPEEDERは、ルーチン検査の高画質化のみならず、高精度な乳房生検を支援する応用性にも優れたコイルである。

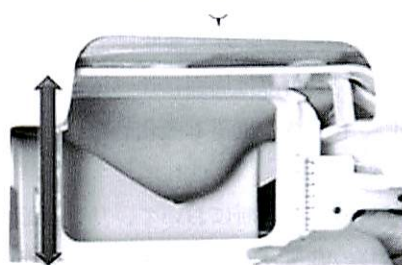


図3. コイルを上下左右に稼動可能なプレストSPEEDER

最後に

近年、ハイリスクグループへのスクリーニング適応など乳房MRIの新たな役割が追加され、乳房MRIに対するニーズは今後ますます増加するものと予想される。画像診断メーカーとして、診断精度向上に有用な新たなMRI技術を提供することで乳癌診療の進歩に役立ちたいと考えている。

参考文献

- 1) 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2007
- 2) 厚生労働省:平成22年厚生労働省人口動態統計月報年計の概況
- 3) 日本乳癌学会・編: 科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 検診・画像診断, 金原出版, 2013
- 4) Exposure to diagnostic radiation and risk of breast cancer among carriers of BRCA1/2 mutations: retrospective cohort study (GENE-RAD-RISK), BMJ, 2012

「膀胱・前立腺のMRI検査」

島田市民病院 診療放射線室 畑 利浩

膀胱の解剖

膀胱は体幹最下部で恥骨後方に存在する尿を貯める筋性の中空臓器であり、容量は成人では平均500mlとされる。膀胱の充満度により形態が変化するが、膀胱三角部は周囲に比べ壁が厚く、尿量に変化しても厚さも位置も変化しない。

膀胱の撮像

膀胱腫瘍の病期診断において、リンパ節などへの遠隔転移の有無と筋層への深達度診断が主になる。膀胱壁は筋層、粘膜下層、粘膜からなり、周囲は脂肪で囲まれている。膀胱壁はT1WIでは低信号となり尿と区別できない。T2WIでは膀胱壁の筋層が低信号に描出される。脂肪抑制T1WIでは膀胱壁がやや高信号帯として描出され、周囲脂肪・尿と分離して描出される。深達度診断には膀胱が適度に進展していることが必要。過伸展するとT2WIの低信号帯が不明瞭となり、深達度を過大評価する危険性があり注意を要する。

膀胱がんの深達度と治療方針

筋層浸潤（T2）と周囲脂肪組織への浸潤（T3）以上の区別が行えることが最も重要となる。

T2以下では膀胱全摘等外科手術の対象となるが、T3以上では化学療法や化学療法+放射線治療が選択されるように治療方針が変わってくる。したがって、T2とT3以上の区別がされやすい様な画像を提供するよう心掛けていきたい。

膀胱の撮像シーケンス、画像

当院における膀胱の撮像シーケンスはT1WI:axial、T2WI:axial/sagittal/coronal、DWIBS、造影Dynamicが基本となる。リンパ節転移等があれば脂肪抑制T2WI:coronalを追加する。

膀胱がんは、膀胱三角部・底部・側壁に好発し、

DWIで高信号、造影動脈相で濃染する。

壁外浸潤がある場合には、T2WIで膀胱壁の連続性が消失する。

前立腺の解剖

男性の膀胱頸部から後部尿道にかけて尿道を取り囲むように存在するクルミ大の器官で、内部は内腺と外腺に分類される。内腺は前立腺の約30%を占め、中心域と移行域に分類される。移行域は前立腺肥大症の好発部位である。外腺は辺縁域とも言われ、前立腺がんの好発部位であり、前立腺がんの70%は辺縁域に発生する。

前立腺がんの病期分類と治療方針

前立腺がんが被膜内に限局されていれば（T2以下）、全摘術や放射線療法などの局所療法となるが、被膜を越える（T3以上）場合には内分泌療法など全身療法が選択される。

前立腺の撮像シーケンス、画像

当院における前立腺の撮像シーケンスは膀胱撮像とほぼ同様の撮像シーケンス。ただし、DWIにおいてはb=2000を用いている。前立腺は元々の信号強度が高くmedium-bでは正常組織も高信号に描出されてくる。high-bを用いることにより病変部のみを描出する。

前立腺がんは辺縁域に好発しT2WIで低信号、DWIで高信号、造影Dynamic動脈相で濃染する。前立腺肥大は内腺に好発しT2WIでは高信号域と低信号域が混在、DWIでは高信号域は存在せず造影Dynamicでは時間と共に造影効果が増強する。また辺縁域は変形するが高信号は保たれる。前立腺肥大のfirst-choiceは超音波検査であるが、PSA（前立腺特異抗原）が高値（4.0ng/ml以上）を示した場合局所評価のためMRIが施行される。

前処置

検査1～2時間前より排尿制限し膀胱を適度に伸展させる。排尿してしまった場合には水分負荷（200～300ml）した後15分ほど時間を置いてから撮像する。極端に残尿量が少ない場合には1時間ほど待たなければならない。蠕動抑制には鎮痙剤の投与が望ましいとされるが、副作用には十分注意を払う。ブスコパンは排尿障害を助長させ、グルカゴンは低血糖発作に注意する。当院の場合、食事制限をしないため鎮痙剤の効果が十分望めないで投与せずに検査を施行している。

アーチファクト対策

当院で実施している一番簡便と思われる方法は腹帯等による下腹部圧迫である。圧迫により皮下脂肪の振幅が抑えられる。また、腹部前壁の皮下脂肪に飽和パルス照射し信号を消したり、腫瘍の位置によっては位相方向の変更も考慮する。

3D撮像

造影Dynamicは3D収集を行っている。（THRIVE：PHILIPS）動脈相に関してはsag/cor断面を再構成している。T2WIを3D-TSE（VISTA：PHILIPS）で撮像している施設もあるようだが、当院では実施していない。鎮痙剤の投与を行っていないため蠕動の影響が画像に反映されることと、造影を3Dで収集しているので敢えてT2WIを3Dで収集しなくても良いとのご意見を当院読影医から頂いているからである。

まとめ

膀胱・前立腺撮像において、存在診断にはDWIが必須。また、造影検査は3D-Dynamic収集を行い、早期濃染像の有無を確認する。膀胱がんの深達度診断はT2WIが有用であり、その際脂肪抑制は掛けない。リンパ節転移等の描出には脂肪抑制T2WI:coronal像が有用。

前立腺は元々の信号強度が高いので $b=2000$ くらいで撮像する。 b 値が複数設定できるのであればmedium- b （ $b=800$ ）を追加すれば解剖学的情報が付加される。

検査前は1～2時間前から排尿制限を行い、適度に膀胱を伸展させる。鎮痙剤の投与が推奨されているが副作用には十分注意を払う。また、食事制限しなければ鎮痙剤を投与しても十分な蠕動抑制はできない。下腹部を腹帯等で圧迫するなどゴーストの抑制を考慮する。

メッセージボード

平成26年11月現在

東部地区

◎経過報告

H26/07/19 (土)

東部地区ボウリング大会

「柿田川パークレーンズ」

40名参加

〈成績〉

優勝：長谷川 公彦 順天堂医学部附属静岡病院

2位：高城 正行 沼津市立病院

3位：田島 光人 沼津市立病院



H26/09/11 (木)

第3回幹事会

「沼津市立病院」

出席者13名

①静岡県放射線技師会報告事項

②ボウリング大会の収支報告、反省

③東部地区ふれあい広場について

④第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナーについて

⑤忘年会について

H26/09/16 (火)

第2号地区だよりの発行

◎行事予定

H26/10/23 (木)

第4回幹事会 「沼津市立病院」

H26/11/15 (土)

東部地区会ふれあい広場

(沼津市市民公開講座に参加。放射線検査の紹介、画像展示、検査に関する相談など)

H26/11/22 (土)

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

『上部消化管内視鏡検査・治療について』

沼津市立病院 消化器内科

宮城島大輔 先生

『Dual Source CTの現状とさらなる可能性』

シーメンス・ジャパン(株)

CTビジネスマネジメント部 前田 路代 先生

(会場・沼津市立図書館 講座室)

忘年会

H26/11/27 (木)

第5回幹事会 「沼津市立病院」

H26/12月 中旬

第3号地区だよりの発行

H27/1/31 (土)

第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・放射線セミナー

(会場・プラサヴェルデ 会議室)

新年会

H27/2/12 (木)

第6回幹事会 「沼津市立病院」

H27/2月 中旬

第3号地区だよりの発行

H27/3/7 (土)

東部地区会通常総会 「沼津市立病院 講堂」

中部地区

◎経過報告

H26/7

地区会NEWS 夏号 発送

H26/9/4 (木)

第2回幹事会 (静岡市立清水病院)

1. 地区会長 挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. メディメッセージについて
4. 第1回放射線セミナー及び第1回胃がん
検診X線撮影従事者講習会について
5. 静岡ふれあい広場について
6. レクリエーションについて
7. 地区会ニュース秋号の発送について
8. 平成26年度中部地区会総会及び第2回胃
がん検診X線従事者講習会について
9. その他

H26/9/7 (日)

静岡ふれあい広場 参加



H26/9/27 (土)

第1回放射線セミナー

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

『放射線セミナー』

“CTの最新情報”

「SOMATOM CTの最新情報」

SIEMENSイメージング&セラピー事業本
部CTビジネスマネージメント部

前田 路代 先生

「これからのCTの動向 —GEの最新CT Revolution
CT の技術—」

GEヘルスケア・ジャパン株式会社CTセー
ルス&マーケティング部

成田 隆任 先生

『胃がん検診エックス線撮影従事者講習会』

“ピロリ菌感染を考慮した胃X線検査”

静岡赤十字病院 健診部長・経鼻内視鏡センター長

川田 和昭 先生

H26/10

地区会NEWS秋号 発送

◎行事予定

H26/11/15 (土)

ボウリング大会・懇親会

H27/1

地区会NEWS冬号 発行

H27/2/5 (木)

第3回 幹事会 (静岡市立清水病院)

H27/3/1 (日)

平成26年度中部地区会総会

第2回胃がん検診X線従事者講習会

西部地区

◎経過報告

○6月21日（土）

平成26年度第1回静岡県放射線技師西部地区会
勉強会

第1,2回 西部地区勉強会

第1回 放射線セミナー

〔浜松商工会議所10階会議室B+C〕 参加者58名
プログラム

第1回 西部地区勉強会

『造影剤の副作用とリスク管理について』

第一三共株式会社 東海支店 造影剤担当
佐々木 達 先生

第1回 放射線セミナー

『交通外傷診断における診療放射線技師の役割』

順天堂大学医学部附属静岡病院 放射線科
平入 哲也 先生

第2回 西部地区勉強会

『心房細動アブレーションの現状と展望』

浜松医科大学 第三内科
助教 漆田 毅 先生



○7月15日（火）

編集委員会

西部TIPS第1号を発行

○8月3日（日）

レクリエーション

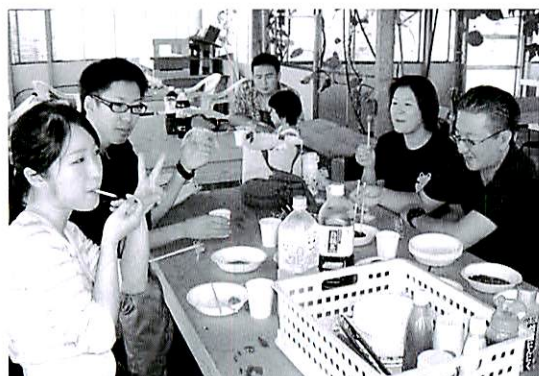
地引き網&バーベキュー（地引き網は悪天候の
ため中止）

〔湖西市白須賀海岸〕

参加者114名



○10月11日（土）
編集委員会
西部TIPS第2号を発行



○9月7日（日）
社会活動 第5回可美公園まつり（健康ブース）に参加
・骨密度測定無料体験 224名
・乳がん検診無料相談 39名
[可美公園総合センター]

◎行事予定
○レクリエーション
10月24日（金）
ボウリング大会
[浜松毎日ボウル]
○勉強会
11月15日（土）

平成26年度第2回静岡県放射線技師西部地区会勉強会
[浜松商工会議所]
プログラム（未定）

○編集委員会
西部TIPS第3号を1月発行予定

○勉強会
3月7日（土）
平成26年度静岡県放射線技師西部地区会通常総会
平成26年度第3回静岡県放射線技師西部地区会勉強会
[浜松商工会議所]



本 会 の 歩 み

(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

H26/ 4 / 5

総合学術大会会場下見 (静岡商工会議所)

児玉・森・三浦 西谷 片山

H26/ 4 /10

第1回常任理事会

和田 田沢 森 山本 三浦 畑 片山

西谷 島田 鈴木 佐々木

(新役員)

望月 八木 市川 赤池 鈴木 蒔田

酒井 柴田 荒井

H26/ 4 /19

第1回理事会 (新・旧役員)

望月 八木 市川 赤池 鈴木 蒔田

酒井 柴田 荒井 田中 望月(浩)

佐々木 竹田 窪野

和田 田沢 森 山本 三浦 畑 片山

西谷 島田 鈴木(博) 佐々木 玉田

児玉 寺田 片山 秋山 田中 倉田

近藤 飯塚

H26/ 4 /23

第1回中部地区幹事会

今年度事業計画 出席11名

H26/ 4 /24

第1回東部地区幹事会 出席14名

H26/ 4 /26

表彰委員会

和田 小池 川守 橋本 清水

H26/ 4 /24

第2回常任理事会 (メール 会議)

H26/ 5 /15

常任理事会

望月(茂) 八木 市川 赤池 鈴木 蒔田

酒井 柴田 荒井 飯塚

和田 田沢 森 山本 三浦 畑 片山

西谷 島田 鈴木(博) 佐々木 児玉

H26/ 5 /21

第2回東部地区幹事会 出席15名

H26/ 5 /23

26年度会費請求書発送作業 師会事務所

三浦 片山 西谷 島田 柴田

H26/ 5 /25

第3回(公社)静岡県放射線技師会通常総会

第19回(公社)静岡県放射線技師会学術大会

H26/ 5 /25

第3回(公社)静岡県放射線技師会通常総会

第19回(公社)静岡県放射線技師会学術大会

和田・児玉・田沢・森・八木・望月(茂)・

片山(善)・望月(浩)・寺田・玉田・外崎・

利・西谷・田中(睦)・田中(章)・柴田・竹田・

鈴木(博)・鈴木(邦)・市川・畑

橋本・鈴木・三浦・秋山・酒井・佐々木

島田・蒔田・佐野・西野・澤田・小池・

飯塚・倉田・近藤・窪野・佐々木(幹)

荒井・片山・赤池・清水

静岡商工会議所 参加会員 183名

会員160名 非会員10 賛助会員12名

報道1 東部:38 中部:74 西部:48

資格審査 会員数812名 / 有効票決数583名

第1号議案 反対1 賛成531 保留5

第2号議案 (地区選出理事候補)

反対0 賛成529 保留8

第2号議案 (理事選出理事候補)

反対0 賛成529 保留8

第2号議案 (監事候補)

反対1 賛成531 保留5

第3号議案 反対1 賛成531 保留5

第4号議案 なし

H26/ 5 /25

臨時理事会 定款 21条:定款22条

理事16名 監事2名

和田・望月(茂)・山本・八木・酒井・鈴木

赤池・柴田・蒔田・荒井・市川・田中・近藤

望月(浩)・片山(善)・佐々木・竹田・窪野

常任理事選任:26年度補正予算書承認の件

反対:0 保留:0 賛成:18

(全会一致承認)

H26/ 5 /29

第4回 常任理事会 (メール会議)

H26/6/4

第1回情報管理委員会
池谷(幸) 市川 柴田

H26/6/7

第74回(公社)日本放射線技師会総会
和田会長 田沢副会長 森副会長
山本副会長 森副会長 片山理事

H26/6/12

第5回 常任理事会
和田・山本・八木・酒井・鈴木・赤池・
荒井・市川・

H26/6/14

第24回乳腺画像部会研修会 参加者48名

H26/6/15

第4回フレッシャーズセミナー
参加 新人7名 他4名

H26/6/15

第1回放射線セミナー(西部) 参加62名

H26/6/21

第61回
超音波部会及び設立20周年記念講演会
参加44名 会員34名 非会員10名

H26/6/21

第1回西部地区勉強会 参加 58名
胃がん検診講習会

H26/6/25

診療放射線技師法の改正を含む「医療・介護の
一括法案」成立公布

H26/6/27

第6回 常任理事会(メール会議)

H26/6/28

第23回放射線セミナー(管理士部会)
参加 26名

H26/7/1

第1回 編集委員会(初校)
蒔田 杉山 三輪 島田 赤池 市川

H26/7/4

第2回情報管理委員会
池谷(幸) 柴田 市川

H26/7/7

マンモグラフィ講習会事務局引継ぎ

場所:静岡県ガンセンター

斎藤 乳腺画像部会長

H26/7/8

第2回 編集委員会(2校)
蒔田・島田・三輪・市川・杉山・赤池

H26/7/10

第7回 メール会議 【協議事項】

1. 静岡ふれあい広場
2. マンモグラフィ講習会事務局受け入れについて

H26/7/17

情報管理システム講習会
和田 望月 八木 赤池 鈴木 酒井
蒔田 市川 荒井 池谷

H26/7/19

東部 ボーリング大会
参加者40名 会員30名

H26/7/23

ふれあい広場全体会議
市川 八木

H26/7/25

ジャーナル配送準備作業
蒔田 島田 三輪 市川 杉山 酒井 赤池

H26/7/28

第1回静岡県ふれあい広場全体会議

H26/8/3

西部地区リクリエーション 参加 114名
地引網&バーベキュー

H26/8/5

静岡ふれあい広場(打ち合せ)
市川 八木 望月(正) 池谷 斎藤 田沢

H26/8/20

3会合同会議 技師会事務所

H26/8/21

第9回 常任理事会
和田 望月 八木 山本 酒井 鈴木
赤池 柴田 荒井 蒔田 市川

H26/8/26

管理士部会 技師会事務所

H26/8/28

マンモス講習会実行委員会
県疾病対策課同席

H26/8/28

メール会議

H26/8/28

第2回静岡ふれあい広場全体会議

H26/8/30

第2回静岡県放射線技師会 理事会
和田 望月(茂) 八木 山本 酒井
鈴木 赤池 柴田 荒井 蒔田 市川
田中 望月(浩) 片山 石川

H26/9/7

西部ふれあい広場(可美公園まつり)
骨密度無料体験 224名
乳がん検診相談 39名
延べ参加者 263名

H26/9/7

静岡ふれあい広場
青葉シンボルロード 参加役員 32名
腹部超音波検査無料体験 133名
骨密度無料体験 248名
医療被曝相談 8名
延べ来場者数 545名

H26/9/7

第1回静脈注射講習会
会場:中東遠総合医療センター

H26/9/11

第10回常任理事会
和田 望月(茂) 山本 酒井 鈴木
赤池 柴田 荒井 蒔田 市川

H26/9/25

メール会議

H26/9/27

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者
講習会(中部地区)
会場:静岡駅ビル パルシェ
参加人数:47名

会 員 動 静 (敬称略)

(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

【入 会】27 名

東部:川野 高志 裾野赤十字病院
深澤 裕 富士宮市立病院
齊藤 亜由佳 富士宮市立病院
幡谷 景虎 富士いきいき病院
草柳 広輝 国際医療福祉大学
熱海病院
内山 りえ 自宅
田中 理恵 聖隷沼津病院
清水 賢介 医療法人社団宏和会
岡村記念病院

中部:門木 達哉 静岡赤十字病院
杉山 奈穂 静岡赤十字病院
中川 英紀 静岡県立総合病院
滝井 剛 静岡市立清水病院
太田 晃輔 静岡県立総合病院
横山 和佳 J A 静岡厚生連
清水厚生病院
村松 涼平 静岡県立総合病院
中平 賢志 医療法人 沖縄徳洲会
榛原総合病院

西部:名倉 義和 聖隷三方原病院
松下 真弓 すずかけセントラル病院
荒木 拓己 市立湖西病院
長谷川 琢哉 浜松医療センター
石田 晃平 社会福祉法人聖隷福祉事業団
聖隷健康診断センター
高橋 優 公立森町病院
青島 由季 浜松医療センター
増田 千晶 社会福祉法人 聖隷事業団
聖隷健康診断センター
小坂橋 実夏 磐田市立総合病院
井上 瑞希 浜松医療センター
水野 孝一 聖隷三方原病院

【再入会】4 名

東部:中西 孝文 沼津市立病院
東部:櫻井 亜香里 NTT東日本伊豆病院

中部：飯塚 太路 静岡赤十字病院
西部：松井 隆之 聖隷浜松病院
【転入】6名
東部：水口 好夫 三島共立病院
牛田 優子 自宅
西部：城間 継子 すずかけセントラル病院
(沖縄県より)
金子 千尋 マツオ脳神経クリニック
(北海道より)
田中 千奈都 自宅
西尾 孝司 聖隷三方原病院
(兵庫県より)
【転出】4名
東部：吉川 昌宏 埼玉県診療放射線技師会
ボッシュ健康保険組合
西部：木根 彩由里 公益社団法人東京都
診療放射線技師会
内海 充喬 公益社団法人東京都
診療放射線技師会
長屋 重幸 聖隷淡路病院
【退会】5名
東部：伊藤 理沙 公益財団法人
伊豆保健医療センター
増田 淳
土屋 慶太
西部：渡部 源五
鈴木 高広
【産休】1名
東部 米沢 美里 公益財団法人
伊豆保健医療センター
【勤務移動】17名
東部：岡田 和教 富士市立中央病院 ←
共立蒲原総合病院
小野 香林 公益社団法人
伊豆保健医療センター ←
順天堂大学医学部付属静岡病院
大内 剛志 医療法人社団英志会
富士整形外科病院 ←
医療法人社団英志会
渡辺病院
内山 りえ 自宅 ←
医療社団法人同愛会 鈴木医院
水口 好夫 三島共立病院 ← 自宅
猪瀬 学 公益社団法人 地域医療振
興協会 戸田診療所 ←
医療法人全心会 伊豆慶友病院
中部：三浦 孝夫 静岡県立こども病院 ←
静岡県立総合病院
小澤 正実 J A静岡厚生連
遠州総合病院 ←
J A静岡厚生連
静岡厚生病院
殿岡 正敏 自宅 ←
静岡済生会総合病院
薬科 有香里 自宅 ←
J A静岡厚生連
静岡厚生病院
鈴木 康之 たむら整形外科 ←
JA静岡厚生連 清水厚生病院
西部：筒井 克好 JA静岡厚生連
遠州総合病院 ←
JA静岡厚生連
静岡厚生病院
戸倉 一美 浜松赤十字病院 ← 自宅
鈴木 茂 公立森町病院 ←
森町家庭医療クリニック
磯部 達也 総合病院聖隷浜松病院 ←
聖隷予防検診センター
宮澤 卓也 たなか整形外科 ← 自宅
篠田 奈美 聖隷浜松病院
【資格喪失】11名
東部：八木沼 大希 リハビリテーション
中伊豆温泉病院
内山 俊二 東海検診センター
田村 勲 自宅
伊能 智隆 熱海ちとせ病院
中部：老川 和穂 SBS静岡健康増進センター
北爪 宏幸 SBS静岡健康増進センター
荻原 豊子 自宅
若杉 由美子 聖隷静岡検診センター
八木 優樹 静岡共立クリニック
丹羽 潤児 静岡市立静岡病院
西部：藤川 眞己 自宅

会員総数	830
東部	257
中部	253
西部	320

平成26年9月30日現在



【名称変更】

医療法人社団 英志会 富士整形外科病院
 ← 医療法人社団 英志会 渡辺病院
 伊豆医療センター
 ← 公益財団法人 伊豆保健医療センター
 桜ヶ丘総合病院
 ← 独立行政法人地域医療機能推進機構
 桜ヶ丘病院 三島社会保険病院
 ← 独立行政法人地域医療機能推進機構 三島総合病院
 社会福祉法人聖隷福祉事業団法人本部事務局
 人事部 キャリア支援室
 ← 社会福祉法人聖隷福祉事業団法人本部事務局
 人材開発室
 学校法人常葉学園 常葉リハビリテーション病院
 ← 常葉学園 常葉リハビリテーション病院

【電報】

東部：神田 直樹 結婚祝電
 杉山 哲一 御乳堂様弔電
 大原 明 御母堂様弔電
 大庭 弘孝 結婚祝電

- 4/1 宮崎県放射線放射線技師会会誌2014.3
Vol.95
- 4/3 神奈川放射線だより Vol.66 No.6
Mar 2014 249
- 4/7 公益社団法人設立 創立65周年記念誌
大阪府放射線技師会
- 4/10 東京放射線 2014年4月号
Vol.61 No.716
- 4/18 岐阜県放射線技師会雑誌
第81(通号117号)
- 4/28 愛知県放射線技師会誌 Vol.256 No.1
(通巻153号) Apr. 2014
- 5/1 新潟県診療放射線技師会会報
第80号 2014.4.20
- 5/7 会報福島県診療放射線技師会2014
No.50
- 5/7 福岡県診療放射線技師会誌
第325 Apr.28. 2014
会員情報誌 Apr 28. 2014
- 5/7 鹿荘奈良県放射線技師会2014年4月
- 5/7 会報北海道放射線技師会 2014 5月号
- 5/9 かながわ放射線だより 250
Vol.67 No.1 May 2014
- 5/12 富山県診療放射線技師会会報
Vol.78 2014
- 5/13 東京放射線2014年5月号Vol.61 No.717
- 5/19 放射線 2014 No.115 2014年総会号
長野県診療放射線技師会
- 5/19 埼玉放射線 第62巻 第2号通巻236号
- 5/26 大分放射線 第95号 April 2014
- 5/30 会誌 No.43 2014.5 総会資料号
広島県診療放射線技師会(平成26年6月)
- 6/3 京都府放射線技師会 平成25年度
- 6/4 東京放射線 2014/6月号 Vol.61 No.718

- 6 / 6 兵庫県放射線技師会会誌
6.2014.6.1 Vol.74
- 7 / 7 東京放射線 Vol.61 No.719
2014年7・8月合併号
- 7 /14 放射線島根 創立60周年記念誌
No.92 Vol.50-1 2014-3
- 7 /16 埼玉県放射線技師会 第62巻 第3号
通巻237号
- 7 /16 ふあっと福井 法人設立35周年
公益社団法人移行記念号 第35号
福井県診療放射線技師会
- 7 /29 放射線ニュース 2014 夏号
長崎県診療放射線技師会
- 8 / 1 富山県診療放射線技師会
Vol.79 2014
- 8 / 4 MART 会報 第82号 2014.7
Vol.116 宮城県診療放射線技師会
- 8 / 4 KART かながわ放射線だより 251
Vol.67 No.2 Jun.2014
- 8 /25 大分県放射線技師会 第96号
July 2014
- 9 / 1 東京放射線 2014年9月号 Vol.61
No.720
- 9 / 3 香川県診療放射線技師会誌
第44号 2014-3 Vol.18 No.2
- 9 / 4 会報 2014年 9月号
北海道放射線技師会
- 9 /12 福岡県診療放射線技師会 第326号
Aug 30 2014
- 9 /16 岐阜県放射線技師会誌
第82巻(通号118号)
- 9 /25 第10回 中四国放射線医療技術
フォーラム 抄録誌
岡山県診療放射線技師会

平成26年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時 平成 26年 8月30日（土）
14時～16時30分
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通1丁目3番地5
フェリス本通り202号

3. 理 事 16名 監 事 2名

4. 出席者

和田 健、望月 茂、山本英雄、八木秀祝、
酒井公敏、鈴木健一郎、赤池正久、柴田純一、
蒔田鎮靖、荒井 準、市川和秀、田中 章、
望月 浩正、片山 善博、佐々木英治、
竹田 守、窪野久行(監事)、近藤 仁(監事)

敬称略

(1) 会長あいさつ

平成26年度第2回理事会を開催いたします。今年は異常気象による自然災害が全国各地で起こっていますが、幸い静岡県では発生していませんが高湿多湿の異常気象の中、健康管理が非常に大変ですが皆さんお元気で活躍されていると聞いております。この4月から新しい役員で業務を5ヶ月間経過してまいりました。5月の第3回静岡県放射線技師会の定時総会並びに第19回の静岡県放射線技師会学術大会におかれましては兎玉実行委員長をはじめ中部地区の実行委員の皆様、そして新旧の理事の皆様の協力を得て182名の多くの会員、賛助会員、非会員が学術的な情報交換をすることができました。5ヶ月を過ぎましたが一般的な学校教育で言うところの1学期が終わった頃で夏休みなどをとり皆さんも英気を養ってリフレッシュして秋口の事業に邁進して頂きたいと思います。本日の報告事項及び協議事項かなり審議事項がありますので会長挨拶はこれで終わらせてもらいます。

定款第34条第1項により、和田会長が議長に就任いたしました。

定款第36条第1項第4号により、議事録作成人鈴木常任理事が指名されました。

(2) 報告事項

① 会長報告 和田会長

平成26年度第2回理事会報告

第186回通常国会で診療放射線技師法の改定があった市川理事を通してホームページに掲載し、かつ日本放射線技師会のホームページとリンクするようにしていただいた。技師法第24条第2項の(2)についての改正、平成27年、来年の4月1日より改正、3つの大きな柱があり、まず1. 造影剤の血管内投与に関する業務、(1) CT検査、MRI検査等において医師又は看護師により確保された静脈路に造影剤を接続すること及び造影剤注入器を用いた造影剤投与を行うこと、(2) 造影剤投与終了後の静脈路の抜針及び止血を行うこと、2. 下部消化管検査に関する業務、2つあり、(1) 下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部(肛門)を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること、(2) 肛門より挿入したカテーテルより、造影剤及び空気の注入を行うこと、3. 画像誘導放射線治療(image-guided radiotherapy: IGRT)に関する業務、(1) 画像誘導放射線治療に際して、カテーテル挿入部(肛門)を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること、(2) 肛門より挿入したカテーテルより、空気の吸引を行うこととなったがすべての放射線技師が来年の4月から行えるかというわけではなく、検査に関する行為を行う際の教育について検査に慣例する行為を実施する場合の条件として社会保障審議会医療部会で教育内容等の見直しが求められる。2つあり、まず(1)として関係法令通知などを改正し、検査等関連行為を安全かつ適切に行うために必要な教育内容を現行の教育内容に配慮しつつ追加する必要がある。(2)すでに診療放射線技師の資格を取得している者について医療現場において検査等関連行為を実施する際には医療機関や職能団体等が実施する教育研修を受けるよう促すことで教育内容を担保する必要がある。それ相応の教育、

トレーニングを行ってからでないといふ平成27年度4月以降の行為は出来ない。

技師法第26条第2項、検診業務、胸部検診について100万電子ボルト未満のエネルギーを有するエックス線を照射する場合には、医師が又は歯科医師が立ち会わなくてもよい条件として今回診療放射線技師法一部の改正に伴い、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針が改正され平成26年6月25日付け健康局長通知が出される。この指針の中で胸部X線撮影の際に医師の立会いがなく実施する場合以下の点を遵守することが必要である。5つあり。まず(1)検診の実施に関して事前に胸部X線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師及び緊急時や必要時に対応する医師などを明記した計画書を作成し、市町村に提出する。尚、市町村が自ら検診を実施する場合には当該計画書は自ら市町村が作成して保存する。(2)緊急時や必要時に医師が連絡できる体制を整備する。(3)胸部X線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備すること。(4)胸部X線検査に関わる必要な機器及び設備を整備するとともに機器の日常点検等の管理体制を整備する。(5)検診に従事する診療放射線技師が必要な教育研修を受ける機会を確保する。

静岡県がん征圧大会についてお願い

今年度のがん征圧大会は9月20日、土曜日、10時から12時10分まで場所は静岡市民文化会館中ホールで行います。静岡県対がん協会の篠原会長(静岡県医師会会長)から各医療団体の方にどれくらいの参加があるか?回答する要請があり。先日の常任理事会で出席を聞いたところ市川理事から出席要請があり。ここにおられる方、自分の職場等で参加希望があればお願いしたい。10名程度静岡県放射線技師会から参加したい。講師が「がん治療から予防へ方向転換～1次・2次予防～」ということで公益社団法人SBS静岡検診増進センター所長の遠山 和成先生が講演され、その後漫才師の宮川 花子さんが「宮川花子のいきいきライフ」のお話をされます。特に静岡市内です

ぐに行けるといふ方はぜひ参加していただきたい。

9月19日から21日までに第30回日本診療放射線技師学術大会が別府の国際コンベンションセンター行われます。大分県の会長が大会長で先般メールを頂き、事前参加登録が1,440名になりお礼があった。アジア地域との診療放射線技師との交流会もあるが外国人の人数は入っていないのでさらに増える予定。二日目、20日に午後6時20分から8時まで全国地域連絡協議会(旧全国会長会議)があり4月から新たに役員が変わりましたので留任の方もいるが、放射線危機管理士、放射線管理士等の認定更新の書類の提出が9月いっぱいカウントが足りない場合は生涯ポイントを加味すると要綱に記載しているが本会会員より生涯ポイントが何も表示されていないとの指摘を受け、5年間で100カウント(2009から2013)であるが生涯カウントの管理について会長会議で聞いてみたい。

5月に静岡県の危機管理部の原子力安全対策課長から防災関係機関長、静岡県放射線技師会会長宛に静岡県の地域防災計画(原子力災害対策の巻)の修正について平成26年6月の原子力対策の修正の経緯を見ると緊急時のモニタリング体制の見直し、安定ヨウ素剤投与、服用の整備、情報収集機関に対する体制の追加等があった。原子力災害対策の巻のおもな修正内容として1番目に緊急時モニタリング体制の見直し、国、地方公共団体、原子力事業者が連携した緊急時モニタリングセンターの立ち上げ、緊急時モニタリングの実施等というようにうたわれています。2番目に安定ヨウ素剤の予防、服用体制の整備、安定ヨウ素剤の緊急時の服用にかかわる体制や事前配布等の必要な措置の整備、情報収集自体に対応する体制として御前崎市内で震度5弱及び震度5強の地震が発生した場合の連絡体制の確立と修正内容がうたわれている。安定ヨウ素素に関しては事前配布されているところもある。以前浜岡の方でも配布されていたことがある。ヨウ素剤は薬事法の兼ね合いもあ

り、副作用の問題、乳児、幼児の服用、錠剤ではなく、シロップ型のものとなると薬剤師の投薬指導もあり問題もある。

会長報告の中でご質問があればお受けいたします
→なし

東部：望月副会長

・委員会報告

I 選挙管理委員会

報告事項、協議事項はありません

II 生涯教育委員会

- ① 第1回静脈注射（抜針を除く）講習会を9月7日、中東遠総合医療センターで開催します。申し込みの期限は8月24日までですが定員に達していません。

- ② 中日本地域MR I基礎講習会が12月7日にアクトシティ浜松で開催します。

第2回の静脈注射（抜針を除く）講習会を2月8日に中東遠総合医療センターで開催予定

III 医療安全推進委員会

- ① 9月7日の静岡ふれあい広場で「身近にある放射線について医療被ばく相談」と「放射線技師の仕事についての広報」を担当します。

- ② 12月13日に行われる医療安全セミナーはチーム医療の推進関連の1つにあった「放射線検査等に関する説明と相談を行うこと」をテーマに講師をJARTに依頼しているところです。

災害対策委員会、企画委員会、医療安全推進委員会

第1回3会合同会議を8月20日に開催

11月29日に行われる緊急時災害対策研修会における企画、役割分担

公開講演 静岡県地域防災計画（地震対策編）

講師 静岡県地震防災センター所長

小林 佐登志

同時に第24回放射線技師セミナーも開催予定

研修会はGMサーベイメータの原理と取り扱いとGMサーベイメータの取り扱い実習

企画委員会より平成27年3月14日に静岡県産業

経済会館で超音波検査読影補助業務の研修会の開催予定

中部：八木副会長

- ・静岡ふれあい広場の打ち合わせに2回参加。

内容については広報の市川理事から詳しく話していただく。

- ・協和医科の方からメディメッセージ2014について昨年は東部地区で開催し、今年度は中部地区で開催予定。静岡県放射線技師会としては直接業務を行うのは公益社団法人をして難しいところがあり、中部地区会の方へお願いしました。内容の詳細については中部地区会長の望月さんの方からお話してもらいます。

西部：山本副会長

・部会報告

I 超音波部会

第61回超音波部会研修会が平成26年6月21日（土）にマイホテル竜宮で開催され、44名が参加、その後、超音波部会設立20周年記念祝賀会が盛大に行われた。第62回超音波部会研修会を平成26年10月4日（土）15：00から静岡県放射線技師会事務所で開催予定。

II 乳腺画像部会

第24回乳腺画像部会が平成26年6月14日（土）に中東遠総合医療センターで開催された。内容が「デジタルの基礎知識と管理のポイント」とデジタルマンモグラフィについての内容であったためいつになく参加者が多く48名の参加があった。今年度は静岡県マンモグラフィ講習会事前講習会を行いません。第14回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会を平成26年12月6日（土）～7日（日）に静岡県立総合病院で開催予定

III アンギオ部会

第42回アンギオ部会研修会を平成26年度10月18日（土）14：00～パルシェJR静岡駅ビル7階（第1会議室）で開催予定。第43回アンギオ部会研修会を平成27年2月21日（土）にMRI

部会と合同に開催予定。ジャーナルに掲載が間に合わず、静岡県放射線技師会ホームページに掲載しました。

IV MR I 部会

第1回静岡県MR I 技術研究会（MR I 部会研修会）が平成26年10月25日（土）13:00から静岡県教育会館4階B会議室で開催予定。MR I 部会研修会の名前の変更をしないとMR学会からの認定のポイントが取れないということで大川MR I 部会長より認定のポイントを取りたいとの要望があり、名前を変えれば認定のポイントが取れるということで静岡県MR I 技術研究会に名前を変更した。

V 管理士部会

第23回放射線技師のためのセミナーを平成26年6月28日（土）に静岡県放射線技師会事務所で開催し、26名が参加した。先程、和田会長より技師法改正のお話がありましたが、日本診療放射線技師会理事の児玉さんがみえて管理士認定資格更新に関するお話をしていただいたのですが後半トピックスとして技師法改正のお話をしていただき大いに盛り上がりました。

第7回CCRTが名古屋で平成26年11月1日（土）～2日（日）に開催され、静岡県に座長の要請があり、アンギオと核医学の座長を探しています。（締め切りは9月5日）

和田会長

副会長報告の中でご質問があればお受けいたします
→なし

③ 常任理事報告

総務：酒井理事

- ・6月16日に役員交代挨拶状を作成し、発送しました。
- ・6月25日に2月に発送したジャーナルの広告依頼の中で広告募集の件数が多く設定されており、ジャーナル作成費用を上回ってしまうという指摘あり（エーザイ）件数を変更して再度依頼状

を送付しました。

- ・7月7日に新春公開講演会とアール祭の予約の確認
- ・7月25日に第19回学術大会の抄録集広告請求書5社作成し、ジャーナル発送時、同封させていただきました。
- ・8月21日に名刺が出来ましたので皆さんにお渡ししました。

総務・庶務：鈴木理事

- ・ホームページのお問い合わせの報告を総務・庶務が常任理事会、理事会で報告することが第5回常任理事会で決まりましたので報告します。4件お問い合わせがあり、勤務先変更依頼、技師会費が未納で支払いたいが支払い口座と金額を教えてくださいという依頼、職場の名称変更手続き依頼、CTテクノロジーフォーラム東海に対して静岡県放射線技師会の後援依頼

庶務一般：赤池理事

会員動静について（理事会承認事項）

新入会14名

（東部） 7名

川野高志、深澤 裕、斉藤亜由佳、幡谷景虎、柳 広輝、内山りえ、田中 理

（中部） 2名

門木達哉、杉山奈穂

（西部） 5名

松下真弓、増田千晶、小坂橋実夏、井上瑞希、水野孝一

再入会 2名

中西孝文（東部）、松井隆之（西部）

転入会 4名

水口好夫（東部）、牛田優子（東部）
田中千奈都（西部）、西尾孝司（西部）

転出 6名

小野孝明（愛知県へ） 大島治泰（岐阜県へ）
木根彩由里（東京都へ） 内海充喬（東京都へ）
吉川昌宏（埼玉県へ） 長屋重幸（淡路島へ）

退 会 13名

石垣絵美（東部）、萩原佑美（東部）、
中西孝文（東部）、増田 淳（東部）
村田憲昭（中部）、田村勇人（中部）
近藤方司（中部）、櫻井八郎（中部）
岩谷 篤（中部）、安藤孝雄（中部）
菅野敏彦（西部）、渡部源五（西部）
鈴木高広（西部）

新入会14名、再入会2名、転入会4名について
定款第3章第6条に基づき本理事会での採決をお
願います。

和田会長

採決に入ります。採決は挙手にて行います。

反対0名 保留0名 賛成16名

全会一致で承認された

庶務会員管理：柴田理事

- ・会員数及び、2014年度会費の納入状況は2014年
8月19日現在で総会員数824名、360名が未納で
納入率が56.3%で9月30日が納入期限である
ので期限内に納入するように各理事職場等で催
促の方よりお願いいたします。
- ・組織理事、会長、副会長に静岡県放射線技師会
費未納者リスト（2年未納者と1年未納者）を
作成した。和田会長より、組織理事に地区会
幹事会等で9月末までに会費を納入するよう
にお話をさせていただきたい。2年未納者が東部地
区12名、中部が12名、西部が8名、1年未納が
東部で106名、中部が102名、西部が152名会費
を下げているのに納入率が悪いのでは困る。会
員数が減り公益社団法人としてよいのか？会費
で静岡県技師会は運営していて県からはマンモ
グラフィと胃がん検診の委託金として約60万円
頂いている。

会計：荒井理事

- ・事務所の電話を光電話に変更するにあたり、8
月28日に計画していましたがインターネット回

線も同時に変えることで月々約6000円の節約が
出来るということが工事の日にわかり、28日の
工事は中止しました。まだ日程は決まっていま
せんが、後日変更する予定です。会員等には連
絡しませんが各理事には工事日等の連絡はしま
すが工事の際に数分間電話が使用できませんが
ご了承ください。

編集：蒔田理事

- ・vol.24 No1のジャーナルを7月25日（金）に
発送しました。
- ・次号は11月28日（金）に発送予定し、原稿の締
め切りを10月21日（火）に設定させてもらい、
9月30日（火）までに原稿依頼を出しますので
よろしくお願いします。

広報：市川理事

- ・8月7日（日）第35回静岡ふれあい広場があり、
7月28日（月）に第1回全体会議があり市川と
八木副会長が出席、8月5日（金）に各自担当、
副会長と第1回打ち合わせをしました。8月28
日（木）に第2回全体会議に出席。

和田会長

常任理事報告の中でご質問があればお受けいたします
→窪野監事より7月に遠州病院では全員技師会費
を納入しているが、1年間未納リストに記載さ
れているがどうということか？柴田庶務会員管理
理事より再度確認します。荒井理事も入金の手
確認をし、遠州病院の技師会費が納入されてい
ることが確認された。後日、柴田理事より訂正
された平成26年度8月19日現在の会員数、及び、
2014年度会費納入状況が報告された。

④ 地区選出理事報告

東部：田中理事

幹事会を2回行い、地区だよりを6月に発行し
ました。7月にレクリエーションとしてボーリン
グ大会を行い、40名参加した。今後の予定として
幹事会を3回ほど開き、11月にふれあい広場を沼

津市立病院で行い、11月に第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会と第1回放射線セミナーを開催予定。地区だよりを2回程発行する予定です。

中部：望月理事

・4月に第1回幹事会を開催し、4月中旬に地区会ニュースを発行しました。今後の行事予定ですが9月4日（木）に第2回幹事会の開催予定。9月7日（日）静岡ふれあい広場の参加。9月27日（土）に第1回胃がん検診従事者講習会・第1回放射線セミナーを開催予定。10月25日（土）～26日（日）メディメッセージ2014に中部地区会として八木副会長を通して参加要請があり、中部地区会として協力します。3、4回ほど打ち合わせをしているが具体的な内容を来週幹事会があるのでちょっと煮詰めていこうと考えています。10月中旬に地区会ニュースの発行を予定し、レクリエーションの方は日程が未定ですがやる方向で考えております。平成27年3月1日に第2回胃がん検診従事者講習会・第2回放射線セミナー・平成26年度中部地区総会の開催予定です。

西部：片山理事

6月21日（土）に第1回静岡県放射線技師西部地区勉強会を開催し58名が参加しました。7月15日（火）に西部TIPS第1号を発行しました。8月3日にレクリエーションとして地引き網&バーベキューを行い、114名が参加しました。今後の予定としまして9月7日（日）に第5回可美公園まつりの健康ブースで骨密度の無料測定と乳がん検診の相談をやります。プログラムが未定ですが浜松商工会議所で第2回静岡県放射線技師西部地区会勉強会を開催予定。10月に西部TIPS第2号の発行予定です。

⑤ 常設委員会理事報告

学術：竹田理事

・7月14日に第1回学術委員会を開催し、平成26年度新春公開講演会の講演内容を検討しました。

8月14日に企画申請書を提出しました。

企画調査：佐々木理事

8月20日に第1回企画調査委員会を開催しました。来年の3月14日に行う予定の技師研修会の内容について話しました。場所は静岡県産業経済会館の第1会議室で14時～19時で今回のテーマは超音波の読影補助業務で研修会を予定しています。内容はメーカーによる最新機器と技術の紹介、特別講演としてまだ講師は決まっていますが超音波検査における読影の留意点というようなことを考えています。シンポジウム形式で県内の総合病院、検診施設から各2施設ぐらいの代表の方にシンポジストになっていただいて日ごろ行っている超音波検査の読影補助についてディスカッションしてもらおうと考えており、まだ企画書等は作成していませんが次回の理事会には提出予定です。

⑥ 監事報告

窪野監事

・特にありません

近藤監事

・特にありません

石川事務員：報告事項なし

(15：07)

(3) 協議事項

(15：15)

①第35回静岡ふれあい広場企画承認の件

市川広報理事

平成26年9月7日（日）に開催される第35回静岡ふれあい広場の企画申請書です。行う内容は昨年と同様です。例年と違うことは今年度より予算が増え、参加費が2,000円から5,000円に増えたりとか機材の使用料が増えたりだとか発電機のレンタルが社協の方で出来なくなり、個人的に借りることになったり、使用機器のレンタル（超音波、骨密度）を例年メーカーより無料で借りていたが企業倫理の問題からお金を出して頂かないとお貸し出来ないと言われ、見積もりを取り費用が発生

するようになった。昨年よりも25,500円くらい予算が増えています。また、放射線技師の仕事や検査内容を技師会の役員が資料を作成して渡していたがJARTの方で「診療放射線技師のことがわかる本」というカラーで出来た良い雑誌があり、こちらの冊子を配布することにしました。こちらは東部地区、西部地区でも使え、日本放射線技師会の方へ請求すれば送ってくれるとのことで来年もこちらを使う予定で行きます。当日、参加者人数が昨年27人で今年度は30人と増え、去年は骨密度装置がかなり大変であったようで今年は管理士部会から7名の参加をいただいております。当日服装は白衣をお願いします。

何か質問等はありませんか？

→質問なし

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

②静岡県マンモグラフィ講習会事務局受け入れ承認の件

和田会長

今まで県の疾病対策課の方から県のがんセンターの方で事務局を医師の読影、講習会、撮影技術講習会、企画、すべての材料等の発注等をごんセンターで行っていたががんセンターの総長の方から今はデジタルマンモグラフィの時代で10年以上も事務局を行ってきたので他の医療団体、関連団体に事務局を移したらどうかというお話があり、県の疾病対策課の方から乳腺部会の斉藤部会長、並びに和田会長の方に話が来しました。内容がよくわからないので実際に事務局を受け入れたときに斉藤部会長の方にどのような準備から講習会、認定の交付までどのくらいの実行委員の人数で出来るのか？静岡県放射線技師会からは県の方へ3名の実行委員の届けを出しているがその状態では厳しいだろうということであり、静岡県放射線技師会長としては事業計画の中で公益1の事業の中で

マンモグラフィの事前講習会を県より委託事務費として補助を受けており、事業計画にもうたっている。読影の講習会並びに撮影の講習会行うのは中々厳しいのではないかと考えていましたが事業が静岡県放射線技師会としてなくなると非常に公益事業目的比率も下がり、事業自体の補正予算も再度検討しないとならず、県の疾病対策課の方から和田会長に電話があり、静岡県放射線技師会で事務局は受けませんとなったらどうなるのか聞いたところマンモグラフィの講習会は中止と言われ、事業としての衰退等が考えられ、山本副会長は学術担当の部会統括をしているので副会長を通じて斉藤部会長の方にもう1度考えてほしいとお願いした。会長としては事務局を行う方向でいる。疾病対策課担当者は静岡県放射線技師会事務所に事務局員が数名(5～6名)いると思っていたようである。斉藤部会長と話している中で色々なイベントを行うとイベント会社にある程度、委託してもらおうとそんなに負担がかかることもないだろうということがわかり、和田会長より県の疾病対策課の担当官の方に事務局が他にないのであれば静岡県放射線技師会として事務局を受けさせていただくと伝えた。山本副会長をはじめ、担当の実行委員の方々に色々プランニングしてもらいましたのでこれからお話してもらい、皆さんの方から質疑、最終的には承認という形をとって行きたい。

山本副会長

和田会長よりお話がありましたがマンモグラフィ講習会の事務局を受け入れることを前提で今まで行っていたがんセンターの事務局を行なっていた所に7月7日に話を聞きにいってきました。非常に厚い資料を渡され1時間30分くらい説明を聞いて来ました。流れは出来ているので静岡県放射線会として出来ないことはないのですががんセンターでも委託業者が入っていて、出来ないことはないだろうということになった。ただがんセンターははがきを出したり、医師との確認をしたりと雑務を行っていたようですが今回、われわれはそのようなことをやっている余裕はなく、そのよ

うなことも業者に委託して出来るのかどうか確認をし、出来るということなので委託業者（2社）の見積もりを取りました。企画申請書を見てほしいのですが昨年度の委託業者が㈱ナビ（県立総合病院で開催）、一昨年の委託業者が㈱朝日メディアブレーン（静岡県がんセンターで開催）で行った。山本副会長、斉藤部会長、天野部会委員、井上部会委員で㈱ナビにお話を聞きに行ってきました。がんセンターでのやり方より楽になりますよと言われ、ホテルの手配、タクシーの手配まで全部任せてもらえば行きますとのことであった。申し込み方法もホームページで行って、お問合わせの方の対応もメール等で対応してくれるそうで見積もりをとりました。㈱ナビが¥3,258,695円で㈱朝日メディアブレーンが¥4,978,800円で金額も㈱ナビの方が安く、昨年も行っているとのことである。常任理事会で承認を得て契約し、作業をすめようとしていたところ県から県が技師会に委託しているのに県と技師会の委託契約が完了する前に技師会と㈱ナビが委託契約をしてもらっては困ると言われ、マンモグラフィ講習会運営業務の概要として撮影技術だけでなく、読影の方もしなければならず、医師の方も対応しなければならなく、厄介である。撮影技術講習会が12月6日（土）～7（日）、読影講習会が11月15（土）～16（日）でがんセンターが日程、場所は昨年から押さえてくれてあった。これからは静岡県放射線技師会は共賛であったが主催となり、業務内容ですが事前準備等も㈱ナビに委託し、前日、当日、講師のホテルの予約、受講証、精中講との調整、シャウカステンの借り入れ等の資料を出して、見積書を作成した。県から3,178,000円、受講料（医師4万×49人、技師2万×50人）2,960,000円、総額6,138,000円の事業になる、そして委託資金計画書を提出しました。県から3,178,000円出るがとりあえず9月に県から200万出てその請求書を出してほしいとのことである。11月の講習会の時に受講料が2,960,000円入り、12月に県から1,178,000円入る予定。県が事務処理を通して8月27日に第1回実行委員会が開催され静岡県

がんセンターから静岡県放射線技師会にマンモグラフィ講習会事務局委託が承認された。そしてその日に県と静岡県放射線技師会との委託契約が成立しました。今度は静岡県放射線技師会と㈱ナビとの委託契約を来週くらいに結ぶ予定。㈱ナビの方も既に動いてくれていて作業を進めてくれています。実行委員として斉藤乳腺部会長、天野乳腺部会員、井上乳腺部会員、早坂超音波部会員（県業依頼）、精中構との連絡又はやりとりをがんセンターの伊藤さんをお願いした。事務局は山本副会長が行う。マンモグラフィ事前講習会を本講習会の前に行っていた。内容はデジタルマンモ講習会をやっていた。県の室長、課長から95%がデジタルマンモグラフィになっているのでデジタルマンモグラフィの講習会をやってみてはどうかと名前も変えてもよいという提案があった。県の疾病対策室が5年後には県のデジタルマンモグラフィのレベルを上げていく、そのような講習会をやってほしいと要望があった。しかし、名前をデジタルマンモグラフィに変えると精中構とのからみでいろいろ言われてしまうようで「静岡県デジタルマンモグラフィスキルアップ勉強会」に変えたらどうかと言う提案があり、今までは本講習会の前には事前に行っていたが10月5日に行う予定はありましたが事前講習会のお金が9月中旬に出て、10月では募集期間も短く、実行委員会の中では1月、2月にやってみてはどうかという意見が出た状況であります。すでに常任理事には流して名前の変更に関しては県医務課公益法人担当のところで聞けば変更届を出しなさいと言われるが、講習会の内容が大幅に変わるわけではないので報告するときに名前の変更があったと報告すればよいとのことであった。

和田会長

会員には事業計画で10月にマンモグラフィ事前講習会を行うとうたっていて若手技師でマンモグラフィの認定を取得しようとしている方達は本試験の前にプレを受けて臨もうとしていたのに何で今年度のみ変更しているのかと事業計画と異なっ

ているのではないかと指摘をされると困る。県の担当は名称変更してもよいといているが勉強会という名前のものに県の補助金を出すのはいかがなものか？セミナーとか講習会という名称ならば構わないが勉強会ではまずいのではないか？

山本副会長

県の方から勉強会でという名称変更の提案があり県からの助成金も例年通り60万程出て減額されることはない。

何か質問等はありませんか？

→質問なし

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名
(全会一致承認)

③平成26年度新春公開講演会の企画承認の件

竹田学術理事

「平成26年度新春公開講演会」開催について公演内容は1.公開講演として「喫煙とがん～禁煙外来を利用してがんのリスクを減らそう」の内容で静岡赤十字病院 院長の磯部 潔先生にお願いしました。磯部先生は現在も毎週禁煙外来を行っているようです。2.教育講演としまして今、流行のスーパーレントゲンについて「タルボ・ロー干涉計によるX線画像技術～スーパーレントゲンとは～」ということでコニカミノルタの長東澄也先生にお願いしました。スーパーレントゲンの内容に悩んだのですが大分の日本放射線技師学術大会で一般公開講演になっていてまた、CCRTの方でも特別講演になっていてMRI医療画像情報学会の教育講演にもなっていますが旬は旬でうちが一番最後になりますがよいのではないかとということでお願いしようと考えております。そして磯部先生が院長なので謝金は5万円で考えています。

和田会長

教育講演の内容ですがいろいろなところで講演されているようですがこれから大きな1つの方向性があるのではないかとということで長東先生には少しアレンジして報告してもらいたい。東北大学の方でやっていて軟部組織をいかに出すか？最近、リウマチの患者が多く、普通のレントゲンでは骨の皮質の外側の淡い部分は中々わかりにくく、軟部組織を撮るのに低電圧で撮る技術は相当前からあるが、話としては面白いのではないかと内容的には問題はないと思います。如何に広報をするか？県の立ち入りの時に県の担当官からいろいろ公開講演を行っているが我々の広報の仕方が下手なのかなかなか静岡の市民が集まってもらえず10人以下というのが殆んどで簡単なチラシを各病院、公民館とかにおくことが出来ないのか？関連医療団体、例えば臨床検査技師会や理学療法技師会にも声をかけ、こういうことを行いますので出席してほしいということを投げかけてはどうかを言われました。市川広報理事とも話をし、中部の基幹病院にチラシを置き、患者さんに持っていってもらう方法も1つである。喫煙とがんというのはCOPDに移行する前の禁煙というのは非常に大事な時期で非常によい内容であり、2番目の内容は一般受けはよくないがリウマチの患者には興味深い内容であるかもしれない。予算の支出の方ですが常任理事および携わっていただける役員については事業計画の中に載っているので旅費、日当等を支給しますので0円ではなく5万程度、企画申請書に記載して下さい。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名
(全会一致承認)

④第23回アール祭の企画承認の件

酒井総務理事

新春公開講演会後、親睦を深めるために第23回アール祭を同日の17時から19時30分まで静岡県男女参画センター「あざれあ」の1階レストラン

azaleaで行います。参加費が1人4千円で35名を予定しています。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

⑤GMサーベイメータの校正及びその際の点検校正費用承認の件

望月副会長

静岡県放射線技師会には現在3台のGMサーベイメータを所有しています。その3台を順次校正していかないと行けないということで1台ずつ毎年校正をかけています。3台の内、今年も1台校正をしたいと考えています。千代田テクノに見積もりを依頼したところ3万5千円、消費税込みで3万7800円金額がでました。校正費用の承認を理事会でしていただき、サーベイメータの校正をしたいです。

和田会長

以前、アロカよりサーベイメータを3台寄付していただいた。二次災害における研修会の時に使うので静岡県放射線技師会としては校正をかけなければならない。今年、これで2台の校正が終わり、来年、また1台行う予定。サーベイメータをもって静岡県放射線技師会として講習会、原子力災害に対する我々の役割として県の委託を受けたときにすぐ対応できる緊急連絡網を使う体制が来ている。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

⑥イントラネットサーバ更新に伴うCal増設について及び静岡県技師会ホームページに技師会イントラネットカレンダーの閲覧機能と技師会事務所予約機能の追加について

市川情報管理委員長

現在、静岡県放射線技師会が使用しているイントラネットサーバ「Windows Server 2003」が2015年7月にサポートが終了します。このため新しいサーバ「office365」システムへの移行を行います。これに関しては無償で移行できます。9月1日(月)から移行作業に入り、情報管理委員で検証を行い、9月8日(月)には新サーバへ完全移行する予定です。複数同時にアクセスする場合のアクセス権限をCalといいそれがデフォルトの状態では少ない状態で今、常任理事会(メール会議)をイントラネット使って同時にアクセスしながら会議を行うという方式にし始めている状態で議事録作成が容易になり、保存等便利が多く、アクセス制限がかかると皆さんがアクセスした時に入れなくなってしまうことがありCalを5Cal増設したいと考えています。Calの増設費用として25800円かかりますがいかがいたしましょうか?もう1点静岡県放射線技師会ホームページのイントラネットカレンダーの活用を提案します。現在事務所の予約は電話で行っていますがホームページで予約できるようにしたいと考えています。事務所の予約状況であったり、イベントの内容がわかったり常任理事は閲覧可能ですが、他の役員は閲覧できないと不便なのでホームページ上から行事予定、事務所の予約状況や事務所の予約が出来るように機能を追加したいとアシストデザインというホームページの会社に相談したところ上限3万で対応可能とのことであった。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

⑦秋期公開講演会開催について(11/23)胃がん検診受診率向上に向けて講演内容及び講師の選定について

市川広報理事

11月23日(日)、3連休の真ん中ですが講師、内容等決まっていません。会告等も詳しい内容もあげていません。今年度は胃がん検診受診率の向

上をめざしてというテーマで公開講演を予定しています。先週会長等にアドバイスを頂き、9月20日の対がん協会の講演演者でもあるSBS静岡健康増進センター所長の遠山 和成先生にお会いして来ました。遠山先生より快諾を得て講師の方をお願いしました。もう1演題を伊豆保健医療センターの秋山 洋さんに打診をしました。秋山さんは11月22日（土）には学会発表があり、当初厳しいと言われましたがなかなか苦しい胸の内を話した所快諾して頂きました。秋山さんにはピロリ菌とバリウム検診について効率よくお話していただく予定です。遠山先生の方は11月23日は日が悪い、3連休の真ん中で人は来ないぞと言われ開催するのであれば金曜日の午後か土曜日はどうかと言われたが今から会場を押さえるのは難しく、土曜日はいろいろあたりましたが会場の空きがなく、金曜は平日なので厳しいので23日（日）で行う方向でいます。先程、会長からもありましたが市民向けの講演なので広報をしていきたいと思うがなかなかよい方法が見つからない。1番良いのは新聞であるが費用が発生してしまう。遠山先生がSBS系列なのでSBSテレビで広報してもらえないかと聞いたらSBS健康増進センター自体もお金を払って宣伝してもらおうようで厳しいとのことであった。県や市の広報に載せるのも難しいと言われた。市として後援はするが広報は難しいとのことであった。県の建物に貼るとか置くとかも無理と言われました。静岡新聞に載せるのにはいくらかかるのか調べてみてください。

（和田会長） 予算が見合えば静岡新聞に載せる予定。講師の遠山先生の講演タイトルはこちらで指定するのではなく、先生にお任せする。

理事会承認を採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

（全会一致承認）

⑧その他

柴田庶務・会員管理理事

平成26年度8月19日現在の会員数及び、2014年

度会費納入状況に訂正事項があり、訂正後の内容を後日理事会役員にメールします。（議事録内の内容は訂正後の数字を入力しています）

和田会長

まだ、技師会の納入期限まで日数がありますが組織理事は地区会幹事会を通して9月30日の期限内で会費を納入するように再度お願いしてほしい。日本放射線技師会から納入期限内に会費を納入している1名に対して200円の事務委託費が静岡県技師会に入ってくるため、納入期限内に会費を納入してほしい。

赤池庶務・一般理事

県から委託を受けている胃がん検診X線撮影従事者講習会の企画申請書を西部、中部、東部から頂いていますが金額の方が年間591,120円と出ていますがまた、こちらの方は常任理事会で承認をもらう予定です。

次回理事会は平成26年12月6日（土） 14：00～
静岡県放射線技師会事務所

*議長が、ほかに報告事項、協議事項がないか諮ったところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し16時30分閉会した。

平成26年8月30日

行事予定カレンダー (平成26年12月～平成27年3月)

12 月			1 月			2 月			3 月		
1	月		1	木		1	日		1	日	中部地区総会 第2回 放射線セミナー(中部) 第2回 胃がん検診従事者講習会(中部)
2	火		2	金		2	月		2	月	
3	水		3	土		3	火		3	火	
4	木		4	日		4	水		4	水	
5	金		5	月		5	木		5	木	
6	土	第3回 理事会	6	火		6	金		6	金	
7	日	第14回 静岡県マンモグラフィ講習会(撮影技術) 診療放射線技師基礎技術講習会 MRI検査	7	水		7	土		7	土	東部地区総会 西部地区総会 第2回 放射線セミナー(西部) 第2回 胃がん検診従事者講習会(西部)
8	月		8	木		8	日	第2回 静脈注射(針刺しを除く)講習会	8	日	
9	火		9	金		9	月		9	月	
10	水		10	土		10	火		10	火	静岡ジャーナル編集会議
11	木	第16回 常任理事会	11	日		11	水		11	水	
12	金		12	月		12	木	第20回 常任理事会	12	木	第22回 常任理事会
13	土	第8回 医療安全セミナー	13	火		13	金		13	金	3 会合同会議
14	日		14	水		14	土	第63回 超音波部・第25回 乳腺画像部会合同研修会 第43回 アンギオ部会研修会 第2回 静岡MRI技術研究会合同研究会	14	土	平成26年度 静岡県放射線技師研修会
15	月		15	木	第18回 常任理事会	15	日	第56回 東海四県放射線技師学術大会(愛知)	15	日	
16	火		16	金		16	月		16	月	
17	水		17	土	第25回 放射線技師のためのセミナー	17	火		17	火	
18	木		18	日		18	水		18	水	
19	金		19	月		19	木		19	木	
20	土		20	火		20	金		20	金	
21	日		21	水		21	土		21	土	肺がん検診従事者講習会
22	月		22	木		22	日		22	日	
23	火		23	金		23	月		23	月	
24	水		24	土	新春公開講演会 (第24回アール祭)	24	火	静岡ジャーナル編集会議	24	火	
25	木	第17回 常任理事会(Web会議)	25	日		25	水		25	水	
26	金		26	月		26	木	第21回 常任理事会(Web会議)	26	木	第23回 常任理事会(Web会議)
27	土		27	火		27	金		27	金	ジャーナルVol.24 No.3 発行
28	日		28	水		28	土	第4回 理事会	28	土	
29	月		29	木	第19回 常任理事会(Web会議)				29	日	
30	火		30	金					30	月	
31	水		31	土	第2回 放射線セミナー(東部) 第2回 胃がん検診従事者講習会(東部)				31	火	

* 都合により変更になる場合があります。県医師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県医師会ホームページにてご確認ください。
* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧下さい。

編集後記

寄稿いただいた皆様と編集委員のご尽力によりVol.24 No.2を無事発刊することができました。これで安心して年を越せます。次号は春にお会いしましょう。
(蒔田)

秋になりました。紅葉など見ましたでしょうか。編集委員会の委員の皆さんは最近慣れてきた感じがします。これからも情報をまとめていきたいと思います。ご協力お願いいたします。
(島田)

常任理事になって半年、何もわからない状態からのスタートでした。県との委託事業で当初の県からの委託金額の通知が間違えていたため、何度も県との間で事業見積書の形式の変更等を含め、書類の作り直しを行い、ようやく委託事業に契約を締結することができほっとしているところです。今後も技師会事業に協力していきたいと思っています。
(赤池)

先日、機器の更新があり、最後まで残っていた自現機が撤去されました。技師生活26年、最後に出てきたフィルムを手にとったとき、ちょっと寂しい気分になりました。
(市川)

時の経つのも早いもので、病院を定年退職してから半年以上が過ぎました。現在は、新勤務先でアルバイトをしながら第二の人生を楽しんでいます。働ける喜びを感じながら、技師として常に目標をもって生きていきたいと思っています。
(三輪)

ようやく編集委員の仕事に慣れてきました。レイアウト編集や誤字脱字のチェックなど、微力ではありますが、お役に立てるよう頑張っています。ジャーナルNo.2をぜひ御覧下さい。
(杉山)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.24 No.2 2014 平成26年11月28日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 和田 健

編集者 : 蒔田 鎮 靖

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL(054)255-4862 FAX(054)253-2309

事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL(054)251-5954
執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp